



報 会 窓 同 工 會

2022



福島県立会津工業高等学校

校 歌

作詞 吉田智 山村彌久馬
作曲 新潟師範学校

峯は秀づる磐梯山
水はた、ふる猪苗代
これぞ乾坤秀麗の
精氣あつまりなる處
明治三十七春中ば
礎かたく築かれて
星霜こゝに幾かへり
平和の覇者を育みぬ
身には白虎の粹をうけ
鶴を章に雄々しくも
至誠勤勞一筋に
進む健兒の意氣高し
屹つ峯は嶮しくも
寄せ来る波は高くとも
これ闘の活舞臺
これぞ我等の天地なる



令和4年10月15日（土）福島県立会津工業高校同窓会第115回総会が、ホテル「いづみや」2階会議室に於いて同窓会員46名、ご来賓として松本善法校長、長尾好章PTA会長、同窓会からは若狭・藤田両顧問にも出席をいただき開催されました。

開会に先立ち、この1年にご逝去されました大竹文夫前近畿会工委会長、渡部昭寿同窓会本部幹事をはじめとする全国の同窓生の皆様のご冥福をお祈りするため参加者全員で黙禱をいたしました。

荒井誠一筆頭副会長の開会のことば後、校歌斉唱（黙唱）、浅田誠会長の挨拶につづき菊地和彦氏（S55A卒）を総会議長に選出、書記に菊地登貴雄氏（S52M卒）を指名し議題に入りました。事業報告、会計決算報告、会計監査報告に続き新規提案の「財政検討委員会の設設計画（案）」を含む全議案が可決承認されました。

書記解任、議長退席に続き感謝状贈呈を行いました。田中健一副会長の閉会のことばにて総会は終了しました。

幹事長 木村洋一（S50K卒）

※尚、総会議事録の閲覧希望者は木村幹事長までご連絡ください。

令和4年度事業報告（令和3年10月1日～令和4年9月30日）

会員相互の親睦を図り、母校と会発展のため以下の事業を実施した。

月 日	事 業	場 所
10月5日(火)	会計監査	鶴翔会館
10月20日(水)	第1回役員会	鶴翔会館
10月～11月	第114回同窓会総会 書面決裁(全議題可決承認)	
11月1日(月)	「2021會工同窓会報」発行	
1月24日(月)	「いわき会工会」総会(役員持ち回り) 役員改選有	
2月28日(月)	同窓会入会式 表彰式	学校南体育館
3月1日(火)	会工「卒業式」	学校南体育館
4月8日(金)	会工「入学式」	学校南体育館
6月18日(土)	「東京会工会」総会 役員改選有	上野「精養軒」
6月19日(日)	「東海会工会」総会	「味波」押切店(名古屋市)
7月2日(土)	「機友会」総会(会員のみのみ) 役員改選有	生粹
7月9日(土)	「セウ友会」総会	ホテルいづみや
7月23日(土)	「会津美里会工会」総会(令和2、3年度分) 役員改選有	宮廻
9月3日(土)	「坂下会工会」総会(役員のみのみ)	坂下中央公民館
9月21日(水)	第2回役員会	学校本館4階視聴覚室

※近畿会工会、若松会工会、郡山会工会、福島会工会、猪苗代会工会、建友会、会工電友会の総会は中止。

※表記のほか、会報編集委員会2回、三役会議11回開催。

※学校創立120周年記念実行委員会に10回出席。



『同窓会会報発行にあたって』

同窓会 会長 浅田 誠

（昭43年電気科卒）

朝夕、冷え冷えしてまいりました。全国各地でご活躍しておられます同窓生の皆様、コロナウイルス感染症第7波の影響並びにインフルエンザの発症予測も報道され、加えては円高経済による物価高騰に身を晒され、本当に厳しい世情を実感する今日この頃ですが、ご健勝にお過ごしのことと拝察し、心よりお喜びを上げます。

さて、早いものでもう一年の締め括りの会報発行の時期になりました。本年の大きな出来事は、母校創立120周年記念事業が、多くのご来賓の方々並びにご支援ご協力を頂いた関係各位・企業様、そしてPTA及び松本校長先生はじめ教職員の先生方と同窓会の皆様方のご支援ご協力によって、10月15日（土）午前10時からの記念式典を皮切りに夕方の祝賀会までをもお付き合ひ頂き、盛大且つ実効ある取り組みが出来た事が、唯一無二とさえ思われ感嘆しているところであります。同窓会として全精力を傾注して協力参加させて頂き全員で喜び合いたいと思いますし、この力が今後の同窓会発展の源泉になるものと確信したところです。詳細は別掲内容に

てご理解を深めて頂ければ幸甚です。

今回の120周年記念事業を通して痛感したことは「和の力（二瓶賢二元校長提言の『チーム・ザ会工』）であります。一人では成し得ない事業も全員の結束力で成し得る事を身もって実感しました。更に生徒のデザインを表紙にして制作した『『会工賛歌』』未来を創造する鶴翔』の発行は、本校の『十年』の歩みが記録され、加えて関係企業様からの寄稿も頂きました。後世の資料の一助に加えられたものと感服したところであります。

このように一つ一つ取り上げた内容以外にも本年の事業は3年ぶりに『Face to face』（顔を合わせての会工）で、総会・懇親会が出来た事は望外の喜びであります。今回の懇親会の語らいが次年度につながる布石の糧になるよう、そして今後の同窓会の会員増大、組織拡大の一助になる様に強く祈念し、皆様方の引き続きのご健勝、ご多幸を切にお祈り申し上げます、ご挨拶といたします。

会工同窓会 積立金

令和 4 年 9 月 30 日現在

積立入金日	金額 (円)				
① H27. 9. 28	100, 060	会津信用金庫・本店	定期	口座番号 No.	1352340
② H30. 7. 24	100, 022	会津信用金庫・本店	定期	口座番号 No.	1387072
③ R2. 10. 2	500, 009	会津信用金庫・本店	定期	口座番号 No.	1410283
④ R4. 6. 16	7, 114, 842	東邦銀行・会津支店	定期	口座番号 No.	97-300213

①+②+③+④= 7, 814, 933 円

会工同窓会会計・積立金

監査報告について

令和4 年 10 月 3 日 収入調書・現金出納簿・預金通帳および
支出調書等関係書類を調査照合の結果、適正に執行されている事を認めました
ので報告いたします。

令和4年 10 月 15 日

監事 小山 源 昭
監事 二瓶 正 人
監事 鹿目 忠 明

福島県立会津工業高等学校同窓会 会長 浅田 誠 殿

令和 4 年度
福島県立会津工業高等学校同窓会収入支出決算書

(自 令和 3 年10月 1 日～至 令和 4 年 9 月30日)

収 入 総 額 5, 4 7 6, 7 7 5 円
支 出 総 額 3, 6 6 4, 4 3 2 円
差 引 残 額 1, 8 1 2, 3 4 3 円

◎収入の部 (単位：円)

費 目	予算額(A)	決算額(B)	(B)－(A) 増減	摘 要
繰 越 金	1,913,984	1,913,984	0	前年度繰越金
入 会 金	2,000,000	2,000,000	0	200名×10,000円
協 力 金	3,000,000	^{※1} 1,562,676	△1,437,324	協力金 (会員より)
総 会 費	500,000	0	△500,000	総会 会費等の収入
雑 収 入	6,016	115	△5,901	決算利息
合 計	7,420,000	5,476,775	△1,943,225	

◎支出の部 (単位：円)

費 目	予算額(A)	決算額(B)	(B)－(A) 増減	摘 要
総 会 費	500,000	57,420	△442,580	総会関係経費
会 議 費	750,000	311,031	△438,969	各支部総会時の御祝儀、役員会補助
旅 費	550,000	353,860	△196,140	各支部総会時の旅費
事 業 費	700,000	367,710	△332,290	広告代、各支部への助成
協 力 金 諸 経 費	2,200,000	^{※1} 957,268	△1,242,732	手数料・サラトへの支払等
卒 業 記 念 費	160,000	151,800	△8,200	CD代 (校歌、応援歌、会工賛歌)
体育文化振興会助成	100,000	100,000	0	体育文化振興会助成
慶 弔 費	30,000	67,441	37,441	香典、他
消 耗 品 費	60,000	113,803	53,803	事務用品、他
印 刷 費	300,000	^{※2} 99,000	△201,000	会報印刷 (6,000部)
通 信 費	250,000	222,506	△27,494	郵送代、電話代
事 務 費	200,000	229,265	29,265	コピーカウンター料、他
基 金 ・ 積 立	200,000	0	△200,000	定期預金
予 備 費	1,420,000	633,328	△786,672	会工祭助成 (100,000円) 入会金返金 (15名) 等
合 計	7,420,000	3,664,432	△3,755,568	

※ 1 同窓会活動協力金及び協力金諸経費については、令和 3 年度分のみ決算報告させていただきます。
1,562,676円 (協力金)－957,268円 (協力金諸経費)＝605,408円
※ 2 会報印刷 (6,000部) の請求額399,300円から広告料300,300円を差し引いた99,000円を支出しました。

財政検討委員会の設立を計画

同窓会を取り巻く環境は、少子化が急速に進み県の方針による本校の学級減の結果、入学者数が減少し同窓会費も年間80万円が減少しています。又、今後も更に減少することが見込まれています。

一方、物価上昇や各種料金等の上昇で支出が増加し本会の収支決算書によると2016年から繰越金が減少しており財政的に厳しい状況になっています。

財政健全化に向けた取り組みの一環として『財政検討委員会』の設立が提案され、計画することが承認されました。



感謝状贈呈

前同窓会会長 藤田 晴史 様 (S40E卒)
 前会津美里会工委会長 栗木 俊昭 様 (S45D卒)
 前いわき会工委会長 佐野 容昭 様 (S32E卒)
 前機友会会長 栗城 和夫 様 (S41M卒)

浅田会長から当日出席された前同窓会会長 藤田晴史 様に感謝状が手渡されました。欠席された3人の方々には後日自宅にお届けいたしました。



会長 浅田誠氏挨拶

支部会工委会長人事

会津美里会工委会長
 野中 寿勝 (S50E卒)
 いわき会工委会長
 梅宮 昭 (S39A卒)
 機友会会長
 荒川富士夫 (S43M卒)



令和5年度 福島県立会津工業高等学校同窓会収入支出予算書

(自 令和4年10月1日～至 令和5年9月30日)

収入総額 7,314,000円
 支出総額 7,314,000円
 差引残額 0円

◎収入の部

(単位：円)

費 目	予 算 額 (A)	前年度予算額(B)	(A)-(B) 増減	摘 要
繰 越 金	1,812,343	1,913,984	△101,641	前年度繰越金
入 会 金	2,000,000	2,000,000	0	新入生 (200名×10,000円)
協 力 金	3,000,000	3,000,000	0	協力金 (会員より)
総 会 費	500,000	500,000	0	総会 会費等の収入
雑 収 入	1,657	6,016	△4,359	決算利息等
合 計	7,314,000	7,420,000	△106,000	

◎支出の部

(単位：円)

費 目	予 算 額 (A)	前年度予算額(B)	(A)-(B) 増減	摘 要
総 会 費	500,000	500,000	0	総会関係経費
会 議 費	750,000	750,000	0	各支部総会時の御祝儀、役員会補助
旅 費	550,000	550,000	0	各支部総会時の旅費
事 業 費	700,000	700,000	0	広告代、各支部への助成
協 力 金 諸 経 費	2,200,000	2,200,000	0	手数料・サラトへの支払等
卒 業 記 念 費	160,000	160,000	0	CD代 (校歌、応援歌、会工賛歌)
体育文化振興会助成	100,000	100,000	0	体育文化振興会助成
慶 弔 費	30,000	30,000	0	香典、他
消 耗 品 費	60,000	60,000	0	事務用品、他
印 刷 費	300,000	300,000	0	会報印刷代 (6,000部)
通 信 費	250,000	250,000	0	郵送代、電話代
事 務 費	200,000	200,000	0	コピーカウンター料、他
基 金 ・ 積 立	200,000	200,000	0	定期預金
予 備 費	1,314,000	1,420,000	△106,000	
合 計	7,314,000	7,420,000	△106,000	

付帯決議 費目間の流用については会長に一任する。

各支部への助成

・東京-10万 ・近畿-5万 ・東海-5万 ・若松-5万 ・福島-3万
 ・郡山-3万 ・猪苗代-3万 ・坂下-3万 ・いわき-3万 ・湯川-3万
 ・会津美里-3万 ・建友会-2万 ・会工電友会-2万 ・機友会-2万 ・セラ友会-2万

- (有)アート商会
- あいづ大町開発(株)
- (有)会津金山運輸
- 会津ガス(株)
- (株)会津ガラス
- (株)会津タムラ製作所
- 会津中央乳業(株)
- (株)会津電気工事
- 会津土建(株)
- (株)会和工務店
- (株)アークス会津
- (株)荒明工務店
- 荒井事務所
- (有)アルファ建築設計
- 和食酒房 宴や
- 榮川酒造(株)
- 糸ひす亭
- (有)大内宿 三澤屋
- 大川荘
- 小野瀬工業(株)
- (株)小野屋漆器店
- おやど東山
- 籠 太
- 関東水力工事(株)会津支社
- (有)企業映像ライフ
- 北日本電機工業(有)
- (株)生粋
- (株)共立土建
- (有)倉工房
- (有)サトー興業
- (株)サラト
- (株)シグマ会津工場
- 昭和電工(株)東長原事業所
- (株)白井設計
- 割烹 水林
- (株)住田光学ガラス
- (有)関ビジネス
- 仙建工業(株)会津若松営業所
- 有志一同
- 総合緑建(株)
- 第一通信工業(株)
- (有)滝澤木材
- 滝谷建設工業(株)
- (財)竹田健康財団
- 武田土建工業(株)
- 玉川エンジニアリング(株)
- (株)太郎庵
- 鶴乃江酒造(株)
- (有)東海堂アド工芸
- (株)東北入谷まちづくり建設
- 東北三愛石油(株)
- 永島建設(株)
- (株)南会
- (株)西田建設コーポレーション
- (株)南進測量
- 西田精機(株)
- 日曹金属化学(株)会津工場
- (株)二丸屋
- 林合名会社
- 割烹 萬里
- 光塗装(株)
- ヒメダ理科(株)会津工場
- (株)不二コントロールズ
- ブックスなにわ会津若松店
- (有)北斗設計
- 北斗印刷(株)
- ホテルいづみや
- 松永商会
- マルト建設(株)
- 割烹 萬花楼
- 三菱製鋼(株)広田製作所
- 目黒工業商会(株)
- ハツ橋設備株式会社
- 山口サッシ(株)
- (株)山口設計
- (株)弓田建設
- リスム株式会社
- 流紋焼
- ルービィ工業(株)
- 若松ガス(株)

小 檜 山	大 林	栗 城	栗 木	栗 城	栗 城	倉 島	久 家	木 村	菊 地	菊 地	菊 地	鹿 子	金 桐	笠 間	小 椋	大 堀	大 橋	大 竹	大 原	遠 藤	江 花	梅 宮	内 芝	一 条	板 橋	石 川	石 田	五十 嵐	五十 嵐	五十 嵐	飯 塚	安 藤	荒 川	荒 井	浅 沼	浅 田	青 山	藍 澤	
信		俊	隆	和	和	利	洋	良	壽	登	忠	昌	進	忠	敬	順	隆	信	史	素	俊	良	勝	善								昭	富	誠	美	孝	弘		
一	清	浩	昭	彦	夫	義	雄	一	三	雄	進	明	輝	一	英	司	一	彦	義	郎	弘	和	昭	吉	実	義	功	一	豊	強	勇	裕	男	士	幸	一	誠	男	幸
(S 43 G)	(S 28 G)	(S 51 C)	(S 45 D)	(S 36 E)	(S 41 E)	(S 43 G)	(S 50 K)	(S 37 E)	(S 48 D)	(S 52 M)	(S 47 E)	(S 40 E)	(S 32 A)	(S 31 L)	(S 35 A)	(S 47 F)	(S 27 C)	(S 11 M)	(S 33 E)	(S 30 E)	(S 35 T)	(S 37 T)	(S 39 A)	(S 46 A)	(S 41 M)	(S 43 G)	(S 39 E)	(S 41 M)	(S 48 M)	(S 41 M)	(S 52 T)	(S 35 T)	(S 43 M)	(S 32 A)	(S 43 E)	(S 43 K)	(S 58 A)		
中 島	中 島	長 尾	戸 野	年 郎	照 野	千 井	千 代	田 中	田 中	田 中	武 勢	高 田	高 橋	高 橋	高 梨	関 久	鈴 木	鈴 木	鈴 木	鈴 木	菅 原	白 石	白 岩	白 井	白 井	白 井	白 城	三 野	佐 藤	佐 藤	佐 藤	佐 藤	佐 藤	佐 藤	近 藤	小 山			
和 政	好 武	武 彦	孝 次	孝 利	行 雄	鉄 雄	健 王	秋 一	光 広	亮 夫	芳 一	良 仁	雄 次	哲 一	修 志	孝 夫	力 敏	秀 重	邦 男	鈴 男	鈴 正	菅 元	白 三	白 広	白 達	白 武	三 常	佐 義	佐 藤	佐 藤	佐 藤	佐 藤	佐 藤	悦 憲	近 信	小 源			
一	彦	章	彦	次	利	雄	王	一	広	夫	一	仁	次	一	志	夫	一	敏	重	邦	男	鈴	正	菅	白	白	白	三	佐	佐	佐	佐	佐	佐	近	小			
(S 50 K)	(S 41 G)	(S 50 T)	(S 40 M)	(S 47 E)	(S 44 E)	(S 43 G)	(S 41 M)	(S 42 E)	(S 53 F)	(S 51 A)	(S 49 A)	(S 47 G)	(S 43 M)	(S 55 M)	(S 43 E)	(S 41 T)	(S 31 A)	(S 54 K)	(S 52 M)	(S 40 A)	(S 51 E)	(S 42 E)	(S 43 G)	(S 43 E)	(S 43 E)	(S 45 A)	(S 43 E)	(S 43 E)	(S 45 E)	(S 31 M)	(S 42 C)	(S 38 C)	(S 37 G)	(S 43 M)	(S 56 E)	(S 43 K)	(S 32 E)	(S 49 G)	(S 40 A)

10 | 会工同窓会報No.47
'22(令和4)総会号



創立120周年を迎えて

校長 松本 善法

同窓会会員の皆様には、日頃より母校の教育活動に御協力と御支援を賜りまして、心より感謝申し上げます。また、2月28日の同窓会入会式では、229名の新たな同窓生を温かく迎えいただき、ありがとうございました。令和4年度は、新入生200名を迎え全校生徒627名（男子507名・女子120名）、全教職員81名の合計708名で教育活動が始まりました。

私は、本年4月に着任し、同年10月には創立120周年記念式典をはじめ記念事業が執り行われる中、多くの貴重な経験ができましたこと、光栄に思います。記念事業の実施の際には、多くの皆様方からの御協力を賜りましたことに感謝申し上げます。また、このような節目の年において、改めて本校が地域の方から大変期待されている学校であり、卒業生の皆様から多大な御支援を受けていることを益々実感している

次第です。

昨今、少子化の影響が大きくなってきている状況で、一昨年まで5学科6クラスだった本校も時代の波により令和3年度から1学級減に伴い、電気科と情報技術科を募集停止とし、新しく電気情報科が設置されました。現在4学科5クラスとなり2年目を迎え、次年度で完成年度となります。

このように学科、クラス数が減少してきましたが、長く地域の産業に深く根差してきた学校であり学科でもあります。

これからも社会の情勢に流されず、会工の「社会に貢献できる人材の育成」に努めていきたいと考えております。

結びに、同窓会の皆様には、本校の発展のためになお一層の御協力と御支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、会工同窓会の益々の御発展と御健勝を祈念し、挨拶いたします。

支部会

東京會工会 3年ぶりの活動



会長 田中 健一
(昭42E卒)
東京會工会総会

が6月18日、3年ぶりに上野精養軒で開催されました。令和元年に中国で確認された新型コロナウイルス感染症、翌年1月には日本でも確認され、世界中に拡散していきました。治療薬もワクチンもない状態、4月には緊急事態宣言が発令し



東京會工会総会
令和4年6月

2022年6月18日(土) 上野・精養軒

行動制限がかけられ、同窓会活動は何もできなくなりました。そう長く続くまい、と高をくくっていました。緊急事態宣言が発令が4回も出てしまいました。コロナ禍の波もいつの間にか第六波に。何とか収まってくれと願いながら、総会開催を断念したのは第六波が収まりかけた3月でした。今回は例年より100通多い600通の案内を送りました。返信コメントには、「体調が悪い」、「足腰が弱くなった」等、一気に加齢症状が出てきてしまったようです。3年間のブランクは大きいと感じました。それでも28年卒の方を筆頭に32人の会員が集いました。ご来賓には松本学校長、浅田同窓会長はじめ6名の方々に出席して頂きました。

会場は今までの舞台付部屋から、こぢんまりとした部屋に変更、総会は30分で無事終了しました。懇親会前には小倉喜岳(喜久男・昭42C卒) 歌謡ショ



時間が足りないくらいでした。秋には3件の行事を予定しましたが、コロナ第七波襲来もあり、内2件は会場の都合で中止となりました。残る1件は参加者が集まるか心配です。

東海会工会 雑感

幹事長 五十嵐 強
(昭48M卒)

昭和51年の春に今居住しています愛知県刈谷市に来て、本当

に早いもので半世紀近くになろうとしていきます。今年古希となり、時の流れの早さを改めて感じております。私は現在も週5日のフルタイム勤務をしています。当然のことながら体力、気力、知力の部分で若い時と比べ低下しつつある事を感じながらの毎日です。70歳まで勤める事を会社と話をしておりますので、あと少しであります。最後の力を振り絞り、少しでも貢献して満70歳で無事に卒業を迎えたいと思っております。幸い健康面においては殆ど悪いところはなく、体力的にも普通の生活をすることは何の問題も無い状態です。この状態を維持出来るように軽い運動をしています。

令和4年は新型コロナウイルス感染症は終息しないながらもこの2年に比べて社会活動も制限付ながらも実施出来るようになり、東海会工会も3年ぶりに総会を開催出来ました。本部より浅田会長、木村幹事長、本校より松本校長先生を、東京会工会より戸野部会計幹事を来賓に迎えて楽しいひと時を過ごすことが出来ました。東海会工会も高齢化が進み、総会の出席者の減少化が進んでおります。会員の

坂下會工会 新スタート

会長 渡部 正司
(昭47D卒)

2021年(令和3年)9月、第7代会長として梨子本前会長からその任を引き継ぎました。諸先輩、会員の皆様のご協力を得て、微力ながら、代々の大きな功績をしつかりとつないでいきたいと思っています。初の寄稿となります。どうぞよろしくお願ひ致します。

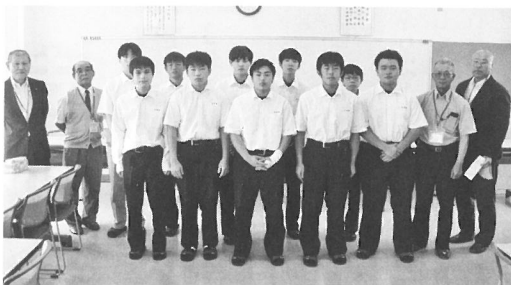
さて、当会会長の大任を頂きましたが、新型コロナウイルス感染症の収束も見通せない中、受け継いだ事業もうまくできないでいます。そのような中であっても、本会の大きな事業である「坂下中学校から会工新入生への記念品贈呈」を松本善法校長先生のご尽力の下、実施することができました。今年度の対象者は12名で、記念品として、『坂下會工会』名入ボールペンと不織布マスク1箱(50枚入り)を贈りました。新入生からは、『日本

鶴雲飛翔

質実剛健

を支える工業技術を学んでいく』と大きな意志の謝辞があり、感嘆しました。小生在学時にはこんな大志があったのだろうかと思いが身を振り返りました。折しも今年度は、本校創立120周年です。私が在籍していた時は創立70周年で、実に50年の年月が過ぎていきます。新入生の姿や言葉を受け、次の時代へ更に歩みを繋いで行こうと本会の新スタートとしての気持ちを新たにしたいところです。

定期総会2022については昨年度同様、役員会（9月3日予定）を以て総会とすることが先の役員会で決定されました。COVID-19が収束の折には、会員一同に会しての懇親会を開こうと全役員一致しての想いと



新入生へ記念品贈呈
(於、本校大会議室2022年6月21日)

猪苗代会工会 この時代こそ 同窓会の充実を

会長 江花 俊和
(昭37卒)

創立120周年おめでとうございませう。

今、国内各地では新型コロナウイルスの第7波の猛威、記録的な猛暑と大雨による甚大な被害に見舞われ、ロシアによるウクライナ侵攻が続いています。加えて北朝鮮の核、台湾問題等々安まる

ことがありません。これからの科学の進歩は、便利さの追求から、地球環境と人へのやさしさに舵を切る時ではないかと思うこの頃です。

当会は、毎年11月に総会を開き、同窓会長と学校長にお出でいただいていた懇談会が恒例ですが、新型コロナウイルスで書面決議となりました。唯一行ったことは、猪苗代で開催された県高校駅伝大会の選手の宿舎を訪れ激励したこと

です。当会の会員登録は78名ですが、総会の出席は20名前後に終わっ

ているのが現状です。今後の課題は、他の会を参考にさせていただきながら、魅力ある会に行きたいと思っています。

新聞で陸上部顧問の雪下良治さんの活躍や全国統一陶芸技能検定が本校で行われたことを知りました。また、スポーツなどでの活躍を見ると嬉しくなります。

創立120周年を機に、本校の益々の発展と生徒諸君の活躍を祈ります。

会津美里会工会 2年ぶりの総会

会長 野中 寿勝
(昭50E卒)

会津美里会工会では、コロナ禍により開催できなかった総会を2年ぶり（本年7月23日開催）に実施することが出来ました。

総会の事業報告では、この2年間、諸会議をはじめ域内会員交流事業も行えず、大変残念な状況ではありましたが、一方で、町内の会工新入学生に対し、記念品贈呈による激励を継続して実施するなど、同窓会会津美



会津美里会工会総会時写真(令和4年7月23日)

里支部としての活動を報告いたしました。

また、今後の事業については、コロナ禍の状況を見極めつつ、町内行事への参加呼び掛けによる「会員交流事業」と、町内の会工新入学生への記念品贈呈による激励を事業の柱として、事業の充実と会員の拡大に、引き続き取り組むことといたしました。

さらに、延期となつてしまつた役員改選が行われ、前会長の栗木様から、私、野中が会長職を引き継ぐこととなりました。以上、総会の概要を記載させていただきますが、会長職を引

いわき会工会 初めまして。

会長 梅宮 昭
(昭39A卒)

県立会津工業高校創立120周年記念誠にありがとうございます。今後益々のご繁栄をお祈り申し上げます。

私は今年の1月初め、前会長から「体調不良の為、会長職を辞退したい」との連絡が入り、コロナの為、会合が開けず役員の方々と電話での打ち合せの上、いわき会工会の会長職を2月1日付けで拝命しました梅宮昭（S39年3月建築科卒）と申し

き継ぐに当たりましては、他の会工会や当美里会工会におきましても大先輩方が名を連ねており、身の引き締まる思いでおります。

また、会津美里会工会は、発足して今年10月で15年目を迎えることとなりますが、発足当初から、会の運営にご尽力いただきました関係各位の皆様、あらためて深く感謝申し上げますとともに、会津美里会工会の発展のため、引き続きのご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

REPORT & MESSAGE

ます。宜しくお願い致します。

私は昭和39年4月大阪市に本社が有る建設会社に就職、勤務して居りましたが、昭和53年の宮城沖地震で現場管理者が不足の為、10か月の応援勤務の辞令で9月初め福島県広野町で施工中の発電所に勤務しました。10か月後、担当の仕事を完了し大阪帰還を段取りしていた処、お得意様からの意向で残留する事になって、30年間の発電所工事の勤務となり、広野火力を中心に東北、東京、北陸、中部電力計画等の勤務をして参りました。

私と同窓会との関わり合いは昭和60年前後、建友会の会員に、又、平成20年前後に会津美里会工会の会員になって楽しんで居た処、当時同窓会会長の若狭顧問から「いわき会工会を作ってくれないか」との話が出ました。いわきに持ち帰り先輩、後輩8名の設立メンバーと共に、

若狭会長初め、会津美里会工会の荒井幹事長の御指導を受けて平成25年6月にいわき会工会設立総会を開催し、今年で9年目に成ります。当時110名の会員が居り出欠の返事を頂いた方85名、現在は55名前後で会の出席者は12〜5名程度に成り、心配して居る処です。

現在、来年の10周年に向い役員一丸と成り頑張つて居り、

建友会

会長 白井 武男
(昭45A卒)

会工同窓会会員・建友会会員の皆様には、日頃より建友会の活動に御協力と御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染症拡大防止対策の為に、建友会活動は、昨年に引き続き今年も制限され、自粛せざるを得ませんでした。

特に、今回卒業の建築インテリア科の生徒達はコロナ禍中で、高校生活が制限され、インターンシップ、修学旅行などの貴重な体験や思い出づくりもなく卒業して行く状況でした。

そこで、新たな建友会活動の一環として、学校と連携・協力

又、会員を増員する為、小椋新幹事長が同窓会名簿を元に転勤等でいわき市を離れた後、お戻りに成られた方、新しく転入された方々を探す作業をして居ります。同窓会の皆様方からの情報も頂ければ幸いです。御協力を宜しくお願い申し上げます。



表彰式

を図り、生徒の専門スキルアップを目的とした取組みを始めました。この事を機会に、優秀な作品の表彰と卒業設計の成果を小冊子『建築インテリア科卒業設計作品』として作成し卒業記念と建友会入会の記念に毎年贈る事にしました。

会工電友会

事務局長 白井 達夫
(昭和43E卒)

会工電友会は平成7年（1995年）電気科50周年記念行事を契機に設立され、令和4年

コロナ禍の中、生徒達が高校生活で学んだスキルと一人一人の育まれた豊かな感性が詰まった思い出の冊子になればと思います。

なお、「建友会無尽会」に於いては十分なコロナ対策を取り、毎月8日に開催し会員の親睦と交流を図っております。是非ご参加を。

また、今年の『建友会ゴルフ部会』は建友会単独開催から各修養会の有志で今年3回行い、来年度からは「会工会ゴルフ部会」に進展させたいと思います。今年も元気に竹島先輩（A一回卒、満92歳）が参加してくださいました。

来年には、「会工会ゴルフ部会」として、同窓会会員の多くの皆様とプレイできれば幸いです。



2021.2.26記念品贈呈



2022.2.28記念品贈呈

至誠勤労

初志貫徹

機友会

会長 荒川 富士雄
(S43M卒)

行・「卒業生への記念品贈呈」などを実施してきました。
しかし、コロナ禍により「史跡探訪」「施設見学会」等の行事は令和2年から開催を自粛し、「定例総会」も会員を招集せず書面での報告に替えるをえませんでした。
こんな中、会報「電友会だより」は、会員相互の唯一の情報交換の場として、会員の近況報告や投稿はじめ電気科の先生や生徒からも寄稿いただき、定期発行を続けています。
「電気科卒業生への記念品贈呈」は同窓会入会式当日に実施し、寄稿いただいた「電友会だより」も提供しています。令和4年2月28日には会長から贈呈させていただく予定でしたが、コロナ蔓延の影響で学校訪問が叶わず電気科の志田先生にお願いしました。後日、先生と卒業生から丁寧なお礼のメールを頂戴した次第です。
令和5年春を以って「電気科」の卒業生は途絶えるようですが、新生「電気情報科」の科章「E」が末永く存続することを願っています。

10年以上会長を務めてこれだけ栗城会長の後を引き継ぐことになりました。よろしくお願いいたします。会工機友会もコロナ禍のせいでこの2年間、総会始めすべてを書面決済で済ませてきました。今年度の総会は、会員のみでの、来賓者なしで開催し、懇親会は実施せずに無事終わることが出来ました。コロナ禍で休止していた在校生の機械研修部が活動を再開したので、学校長御臨席の上、活動助成金を渡すことが出来ました。大会では、日頃努力した成果を参加できなかった先輩の分まで出し切って頑張ってくれたと思います。

私達機友会も御多分に漏れず、会員を増やす事が大命題だと思っています。今後皆様のお力をお借りして、少しでも同窓会会員増に役立てられるように活動してまいります。今後皆様には、よろしくご指導ご協力をお願いいたします。



セラ友会

会長 梨子本 傑
(昭41K卒)

●定期総会2022開催
令和4年7月9日、会津若松市のホテルいづみで開き、23回目を祝った。50人が出席し校歌を斉唱し、梨子本会長があいさつ。本部同窓会への支援・協力や研修会並びに在校生の支援、会員による美術展、会報発行など今年度事業計画を決めました。



セラ友会定期総会2022

今年度の講演会は総会後に行なわれ、会津鉄道(株)社長 鈴木重敏氏(昭52窯業科卒)による「会津の宝をもとめて」の演題で講演されました。懇親会には来賓として松本善法学校長、本部同窓会より浅田誠会長をお招きし、更に会員でもある元クラス担任の石井久夫先生・猪俣薫先生・佐藤正道先生の3名をお招きし和やかに行われました。
今回の総会は、新役員で初めての総会でしたので若手役員それぞれの立場で会を運営して頂きましたので、30歳代から88歳

までの会員50名が一同に会して行われましたので絆を深め交流をもつことが出来たことは意義深いと感じました。
●設立23周年記念美術展
美術展は9月1日(木)から4日(日)までの4日間、開催予定でしたが、コロナ感染拡大に伴い中止となりました。
●会報2022・第19号発行
令和4年5月末に部数300部を発行。会長をはじめ会員による昨年度の活動内容等の寄稿と、同校セラミック化学科の活動などを掲載し、さらに設立23周年に關しての記事も盛り込みました。

●研修会

今年度はコロナ感染を考慮に入れて、秋・春いずれもボランティアガイドによる野外研修としました。参加者は地元の名所旧跡と紅葉・新緑を満喫して、充実した見聞と親睦を深めることができました。
○秋のミニ研修会「県内の名所や紅葉を満喫」
今回は地元での研修会でした。紅葉の一番よい時期に慧日寺の本堂・山門と資料館、国指定寺

REPORT & MESSAGE

跡。土津神社の紅葉。保科正之公の墓所。野口英世ゆかりの寺「長照寺」。小林栄先生の記念館。最後に達沢の滝を巡りました。県文化財保護審議会が重要文化財に指定するように県に答申した慧日寺の本堂・山門・棟札を住職の案内で見学できた事は、磐梯町在住の役員のご尽力によるものでした。ちなみに前住職は本会の先輩です。
○春のミニ研修会
午前中には城内の歴史スポット編である鉄門(くろがねもん)・南走長屋・荒城の月碑・廊下橋・石垣などを中心に、続くコースでは日新館「天文台跡」、戊辰の役の殉職者を埋葬されている墓地「長命寺」での



セラ友会春のミニ研修会2022白鳳山公園

散策で当時の戊辰の役に思いをはせました。
午後は会津美里町・本郷町内の研修で白鳳山公園内を散策し、ここでは会員の水野俊彦観光協会会長とボランティアによる案内を受けました。この地では向羽黒城本丸跡・二の丸跡・三の丸跡や馬頭観音跡の近くに山之内千代太郎顕彰碑(笠間焼に尽力)等があり、理解を深めました。いずれの場所も見頃を迎えた新緑などの美しい風景に見入りました。

●入会式

卒業生の「セラ友会」入会式は2月28日母校のセラミック化学科の教室にて行いました。同科は窯業科からセラミック科への名称変更を経て平成20年4月より現在の科名になりました。セラミック化学科として12回目の卒業生36名が入会しました。今回は本部からの自粛要請があり本会役員は出席しないで科主任の石崎先生より書面で会長歓迎のあいさつを代読していただき、その後、新入会員全員に記念品・会報を本会より贈りました。

三菱製鋼(株)広田製作所会工

会長 珊瑚 優治
(昭59C卒)

同窓会の皆様におかれましては、益々のご健勝のこととお喜び申し上げます。

この会は、三菱製鋼広田製作所で働く会津工業高校の卒業生で構成されています。

年間の活動としては花見、暑気払い、忘年会、総会と親睦を深める会食会を中心に活動しています。

現状の活動は、コロナ感染の影響で自粛していましたが、考え方を改めてウイズコロナで少しずつ行方方向で進めています。まず、新入社員の歓迎会を約3年間行っていないだったので、6月に歓迎会を実施しました。やはり、皆が集まって色々な話をするのは気持ち良く、盛り上がり楽しい時間を過ごせました。

今年こそは、旅行等を行って楽しい活動を積極的に実施していきたいと幹事と話しています。皆様方におかれましては、健康に留意してお過ごしください。

OB会

會工元氣会

第25回「會工元氣会」
総会2022

庶務・旧職員 梨子本 傑
(昭41K卒)

この会は会工に在職した退職教職員で組織し、会員相互の親睦を図る目的で、毎年10月中旬に開催していましたが、昨年は新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み中止せざることをな



り、2年ぶりの開催でした。
5月21日(土)、午前11時から「2022會工元氣会」の総会(第25回)が3年ぶりに対面で開催され、会津迎賓館「寿し万」を会場として、例年よりかなり少ない人数でしたが、28名のみなさんがコロナに負けることなく、元気に参加されました。久しぶりの総会であったために、和気あいあいと親睦を深める機会となりました。なお、会工から来賓として学校長・松本善法先生にご出席いただきました。5月21日のこの日は、ちょうど初代会長である保志和吉先生のめでたい100歳の誕生日でしたので、参加者全員で保志先生の百寿の祝福を申し上げます。今後ともご健康でますますお元気にお過ごしいただきたいと思います。



進路指導部から

主任 佐藤 聖

同窓生の皆様におかれましては、ご健勝にご活躍のことと存じます。また、日頃より本校の教育活動にご支援いただき誠にありがとうございます。

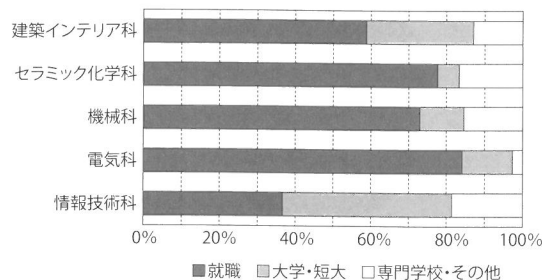
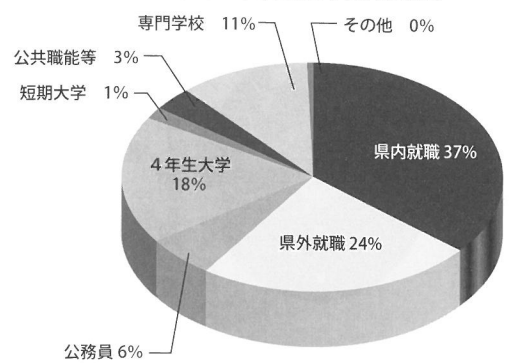
さて昨年度の進路状況をまとめましたのでご覧ください。

就職者の合計は、154名でした。このうち民間就職内定者は、141名で卒業生徒の約67%となり、例年通りの結果となりました。求人件数については約1200件と例年通りの数値となりました。深刻な労働力不足のため、製造、建設、電気関係など多くの産業で求人が増えているようです。

公務員については、13名合格し、人気の高い職種は国家公務員（国家三種）という傾向が見られました。進学者の合計は、75名でした。

専門学校、短期大学の割合が低く、大学・短大の割合が上がりました。進学者全体の割合は昨年よりやや増加しました。国立大学は

グラフ1 令和3年度 卒業生進路状況(全体)



グラフ2 令和3年度 卒業生進路状況(科別)

会津大学4名、会津短期大学2名と合計6名の合格となりました。大学進学者は指定校推薦が多く、工業系の学部に進んでいます。工業高校で学んだスキルを向上させ、将来的に専門性を活かした企業への就職を考えているようです。専門学校進学者は、どちらかというと工業関係以外の分野へ進学する生徒が多かったようです。

最後になりましたが、今年度も生徒全員の希望進路実現に向けて全教職員が一丸となって取り組んでいきたいと思っておりますので、同窓生の皆様も変わらぬご支援・ご協力の程、よろしく願いたします。

不安が渦巻く世界との対峙

3 学年主任 菅家 慶広

東日本大震災と原発事故はまさに日本の危機でした。それから約10年後、世界は新型コロナウイルスによる感染症・肺炎の蔓延、そして多くの死者。さらに今年に入ってからロシアのウクライナ侵攻と両国の戦争。まさに第3次世界大戦は絵空事ではなくSFの話ではなくなってきました。まさに今、世界全体が危機を迎えていると言わざるを得ません。

日本に目を向けると、物価上昇の中でも賃金は上がっていない。年金は下がり続け、格差社会も広がる一方。貧困問題・少子高齢化の加速……。このような社会に今の3年生は来年飛び込むことになる。しかしこの硬直した暗い世の中に光を見出すにはどうしても若い人たちに期待してしまいます。（無責任ですが）

コロナ禍で同窓会総会は2年続けて中止となり、学校行事のみならず同窓会の各種行事、各会工会の活動も自粛や制限のため同窓生の皆さんと学校現場の連携・情報交換も希薄になっている気がします。その中でこの



情報をお持ちの方
お知らせください

《 創立120周年に 母校へ歴史資料の提供 》

本年で創立120周年を迎えた母校に、歴史的な資料となる品物として、東京都にお住まいの方から製造販売元の白木屋漆器店様に送られてきてたものをご提供いただきました。

褒賞とされる蓋には本校の銘がつけられています。白木屋様より、同窓会顧問藤田晴史様に相談があり、大変貴重な物なので母校に資料として譲り受けました。

昭和2年から毎年秋には福島県立会津工業学校が主催となって「図案手工競技会」が行われたと記録（会工百年史・新聞記事等）に残っています。その「図案手工競技会」や秋の展覧会について情報をお持ちの方はぜひご連絡をお願いいたします。

下の写真はその「褒賞」として提供された品物と考えられます。

「会工百年史」に記載（P132）された『OBの証言』には、藤田正次様（S14応用化学科卒）の証言でこのようにあります。

『秋の展覧会に、会津1市5郡を対象とした小学生の図案手工競技会も併せて行われた。これは特賞、銀賞など褒賞制度があり、小学校側から見れば権威のある展覧会でもあったし、クラスで選ばれた者しか出品できなかった。一方展覧会は、各科の状況も公開され、学校のPRに役立っていた。実習作品の即売などもあり、市内だけでなく遠くからの見学者も多く人気があった。（原文）』

【褒賞として贈られた文箱】



銘文「図案手工競技会 主催 福島県立会津工業学校」

（担当：福島県立会津工業高等学校 同窓会係 TEL 0242-27-7456）



会津工業高校ホームページのご案内

～パソコン・スマートフォンからご覧になれます～

本校ホームページでは、学科紹介、他、生徒の学校生活・部活動の様子も紹介しています。

また同窓会ページでは、同窓会からの連絡・過去の同窓会報の掲載・各支部（地域や企業、各科の同窓会）での活動の紹介をしています。

〈お願い〉

同級会や部活動、OB会など開催された際には会報掲載用の紀行文・写真を連絡用メールアドレスにお送りいただくと幸いです。

本校HPアドレス <https://aizu-th.fcs.ed.jp/home>

連絡用メールアドレス kaikoudousoukai@agate.plala.or.jp

同窓会ページはこちらからご覧になれます



福島県立会津工業高等学校

受け継がれてゆくものづくり魂 歴史を継いで。

〒965-0802 福島県会津若松市堤之町1-37

TEL:0242-27-7456 FAX:0242-29-9239



↑ パソコン版

↑ スマートフォン版

「松江賞」「同窓会賞」受賞!!

松江賞

建築インテリア科
横山 京子



機械科二組
中村 夏貴



建築インテリア科
大法 雅英



機械科二組
山内 雅斗



同窓会賞

セラミック化学科
永山 さくら



電気科
戸塚 翼



セラミック化学科
大越 博人



電気科
増川 幹太



機械科一組
長田 大和



情報技術科
田口 敬太郎



機械科一組
小勝 颯人



情報技術科
佐々木 悠月



令和3年度卒（令和4年2月28日授賞式にて）

平和の覇者を育みぬ。

校歌から

学び舎 ロケーション① 専門課程は、いま。

A 建築インテリア科

同窓会の皆様、特に建友会の方々には日頃より大変お世話になっており改めて感謝申し上げます。今年度も建築インテリア科の生徒は勉強に資格取得に、部活動に、生徒会活動に新しい生活様式の中、明るく元気に取り組んでおります。令和4年3月31日付けで定年退職された高橋弘光先生は、喜多方桐桜高校で再任となり、矢部晃太郎先生は令和4年度人事異動により、新採用として平工業高校に栄転となりました。今年度の建築インテリア科の関係職員は以下の通りです。よろしくお願いいたします。

【建築インテリア科関係職員】
※今年度新たに転入
長谷沼 徹
（令和4年3月31日付、会津

工業高校を定年退職後、再任用で主任
菅家 慶広（3学年主任）
佐藤 聖（進路指導主事）
渡辺 学（生徒指導主事）
飯塚 誠
※小針 勝
（郡山商業・白河旭高校の時
間講師から実習助手）

「クラス担任」

◆1年 担任 武山小百合（社会科）
副担任 渡辺 学
◆2年 担任 本多 裕美（数学科）
副担任 長谷沼 徹
◆3年 担任 菅家 慶広
副担任 高橋 芙美（数学科）

さて昨年度の進路状況ですが、男子20名、女子19名のクラスでしたが、就職者が23名、進学者が16名で、地元就職者が14名（内建設業8名）で建設業に女子5名が就職しました。進学者の内訳は4年生大学への進学者が10名（内建築系7名、残り6名が専門学校や短期大学への進学となりました。特徴として

国家公務員の国土交通省東北地方整備局に3名が就職しました。昨年度の生徒たちの活躍を紹介いたします。まず3学年の課題研究コンペでは男子2名で取り組んだ大阪芸術大学グループ主催の「高校生アートコンペティション2021」で、入賞を果たしました。

また全国工業高等学校校長協会主催のジュニアマイスター顕彰制度では、ゴールドが3名、シルバーが8名と例年になく多数の受賞者を輩出しました。資格試験では難関の2級建築施工管理技術者試験（学科試験）



で11名の合格、国家技能検定3級（建築大工）では9名の合格を果たしました。コロナ禍の中、会工祭が来場者を保護者に限定して10月23日（土）・24日（日）に一般公開が行われました。各クラスの催し物や科の展示販売で楽しい時間を過ごしました。3年建築インテリア科が、展示企画の内容が来場者から好評で文化祭を盛り上げる活躍が認められ最優秀賞を受賞しました。



一環で、建友会会長の白井武男様を講師に招聘し、星槎道都大学の設計競技や卒業設計にご指導を頂きました。その結果、星槎道都大学の設計競技では、星槎道都大学OB賞と奨励賞に入賞しました。また、建友会卒業設計優秀作品表彰を制定し表彰すると共に、高校生活の思い出の記録を未来のアーキテクト（建築士）達の旅立ちの記念に、建築インテリア科卒業記念の冊子を42社の建友会賛助会員の皆様のご協賛により作成して頂き、卒業生は勿論、在校生にも配付しました。今後の建友会の継続事業に育って欲しいと思います。

今年度も、コロナの影響で昨年に引き続き建友会総会が中止になり、大先輩や卒業生には会うことができませんでしたが、今後とも後輩のために温かいご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

今後の建築インテリア科の予定としては、令和5年2月3日（金）～5日（日）に鶴翔会館で恒例の本科作品展を開催いたしますのでぜひ足を運んでいただければ幸いです。

C セラミック化学科

同窓会の方々、特にセラ友会の皆様には日頃より大変お世話になり、誠にありがとうございます。本年度は男子17名、女子23名の合計40名を新たにに加え、総勢116名が本学の学習をはじめ資格取得・部活動に、明るく元気に励んでいるところです。また、私、村田が、郡山北工業高校からの異動により仲間入りし、新しい体制で今年度の活動に取り組んでおります。今年度の職員紹介、生徒の活動内容をご報告いたします。

【セラミック化学科の職員】
村田光夫（主任）・石崎晃（1学年主任）・大塚正幸（2学年主任）・熊谷好広（3学年担任）・大濱達明（OB）・太刀川光（OB）
「クラス担任・副担任」

◆1学年
担任 石崎 晃
副担任 安部有香子（英語科）

◆2学年
担任 大塚 正幸
副担任 土田 幸良（社会科）

◆3学年
担任 熊谷 好広
副担任 堀井 敦子（英語科）

【主な出来事】

◆第76回会津総合美術展において、金田リュウガ（2年）・高橋慶伍（2年）・渡辺大愛（3年）が、青少年奨励賞を受賞しました。



「黒曜」金田リュウガ
「春光」高橋慶伍
「細雪」渡辺大愛

◆福島県高校生ものづくりコンテストで、ハイレベルな戦いの中よく健闘し、山口千乃が4位、蜂谷星羅が5位という結果でした。

◆学科花見を実施。昨年度は実施できませんでした。が、今年度は晴天のもと、先輩方のパフォーマンスで



楽しく交流できました。◆3年に一度の会工祭が開催されました。

【セラミック化学科の展示】

「ろくろ成形体験」「ろくろ検定合格者の指導による体験・「身近な化学」（ストームグラスと消毒スプレー製作体験・「鶴翔窯ミニせと市」（本校で制作したやきもの販売）・「生徒作品展示」（本校生徒や関係職員の作品展示室開放・「化学機器分析の展示」（X線回折・電子顕微鏡など）



◆第22回高校生ものづくりコンテスト全国大会ポスターデザインでは、浦川鈴（3年）が優秀賞に選ばれました。



その他、生徒会役員選挙において、猪瀬萌（3年）が生徒会長に、長谷川紫苑（2年）が会計に任命されるなど、多くの生徒が本校の中心として活躍しています。しかしながら、コロナ禍の影響で、ふれあい茶会・会津本郷せと市が今年度も開催されず、本校の活動が外部に発信できないのが残念です。今後、

M

機械科

科長 永峯 宏彦

体育祭等が行われる予定ですが、HPなど活用し、生徒たちの元気な活動内容を外部に発信していきたいと思っています。これから、同窓会の方々のご理解とご協力の程、宜しくお願いいたします。

今年度の人事異動では、長年教員生活をされてきた岩沢先生がご退職となりました。現在は再任用教諭として引き続き本校機械科で尽力いただいております。また、本校に10年間勤務された大竹良宣先生が喜多方桐桜高校に転出。本校に5年間勤務された武田秀幸先生が、白河実業高校へ転出。本校に4年間勤務された古川高清先生が、小高産業技術高校へ転出。本校に3年間勤務された山内卓也先生が、平工業高校へ転出。常勤講師で勤務された藤田康平先生が教員採用試験に合格され、新採用教諭として引き続き本校機械科に勤務することになり、2年間勤務された荒木田優哉先生が退職されました。後任として、本校卒の渡部鉄仁先生、嵯巢幸江先生が喜多方桐桜高校から、郡山北工業高校より池上邦彦先生、川俣高校より前田健登先生、新採用として山口将史先生、田部清楓先生が着任されました。今年度も再任用教諭として茂木利幸先生にご尽力いただいております。そのため、今年の機械科のスタッフは、14名でのスタートとなりました。

各学年の担任の先生は、1M1は星義一（工業・機械）、1M2は齋藤辰也（保健体育）、2M1は永峯宏彦（工業・機械）、2M2は片寄悦広（社会）、3M1は岩橋学（工業・機械）、3M2は加藤善範（数学）の6名でクラス経営にあたっております。

動ではありませんが、福島イノベ構想推進産業人材育成確保事業において、テクノアカデミー浜から講師をお呼びしての出前授業やロボットテストフィールドやテクノアカデミー浜の施設見学なども行うことができました。少しずつですが、生徒のキャリア教育としての企業・工場見学も行えるようになってきました。今後とも新型コロナウイルス感染症とともに生きていかなければならないという認識に立ちつつ、様々な変化に対応できる人材の育成と生徒ひとり一人の輝ける未来のために努力していきたいと思っております。

＜今年度の機械科行事＞

- ・9月以降は予定となります
- ・4月：新入生対面式・機友会入会式（新型コロナウイルス感染症のため中止）
- ・7月：機械製図検定
- ・8月：ガス溶接技能講習会・技能検定（普通旋盤）前期試験
- ・9月：基礎製図検定
- ・10月：百二十周年記念式典
- ・11月：ふいご祭
- ・12月：技能検定（普通旋盤）後期試験・機械科課題研究発表会
- ・2月：同窓会機友会入会式

＜進路について＞

昨年の進路状況は、新型コロナウイルス感染症がまだ猛威を振るっている状況ではありません

たが、1年振りに本校において企業説明会も行われました。まだまだリモートによる企業見学会や試験等もありましたが、大方通常通りの進路活動となりました。3年生の頑張りもあり、今年度も希望進路内定率100%を達成することができました。就職が57名（内公務員2名）、四年制大学9名、専門学校13名の計79名が立派に巣立っていました。現在進行形ではありますが、今年度（令和4年）も多くの企業様より求人を出してくることができ、まだまだ終息の見えないコロナ禍ではありますが、通常通りの進路活動を行っていることをお伝えしておきます。

＜各種大会への参加と活躍について＞

- 福島県高校生ロボット競技大会出場
- （3M1菊地有珠・小池聖・小勝颯人、3M2鈴木真・長郷春希）
- 福島県高校生ものづくりコンテスト（二）旋盤作業部門第3位（2M1菊地一裕）
- 福島県溶接技能競技大会出場（2M1東元気・鈴木瑠太、1M2関恵弥）

＜各種資格取得について＞

- ガス溶接技能講習修了（77名、ボイラー取扱技能講習修了（26名）、機械製図検定（58名取得）、基礎製図検定（58名取得）、危険物取扱者、技能

E

電気情報科

主任 志田 博隆

本校電気情報科は昨年度新設され、一期生も2学年へと進級しました。生徒の希望に応じ、電気エネルギーコースへ17名、情報テクノロジコースへ23名が選択し、より専門性の高い学びを実践しています。電力供給はもろろんのこと、現代の社会においてはIT環境も欠かせない

インフラとなりつつあります。持続可能な社会の実現に向けて人々の暮らしの根底を支える技術者の育成を目指し、教育活動を実践しているところです。電気情報科では、今年度の人事異動に伴い、池上邦彦先生をお迎えし、総勢11名で科務の運営にあたっております。なお、電気情報科1年生の担任は齋藤啓先生、2年生の担任は菊池研吾先生が務めます。今年度の主な取組みは次のとおりです。

- ＜令和4年度の主な取組み＞
- 1学期：会津大学出前講座、全会津電気工事協同組合による技能指導、スマートシティ会
- 津若松出前講座 等
- 2学期：全会津電気工事協同組合青年部学生交流セミナー、東北電力㈱施設見学、先端技術者による講座（AICT）、東京電力パワーグリッド㈱教育プログラム、日産自動車㈱・㈱デンソー福島工場見学、ロボットテストフィールド見学・再生可能エネルギー研究所見学 等
- 3学期：3科合同レクリエーション 等

電気情報科の活動については、学校HPに掲載しておりますので、ご覧いただければ幸いです。末筆ではございますが、今後とも変わらぬご支援、ご協力を



電気工事技能講習

奮るえや会工の健男児

応援歌から

鍛えの各部

会やOB会のバックアップにより、春・夏・冬休みに県内外のフェスティバルに参加し、強豪校との試合を通して強化を図ってきました。しかし、ここ2年間は新型コロナウイルス感染症により、大会中止や県内外の遠征が出来ないこと、活動制限等があり、歯がゆい時期を過ごしています。

山岳部

顧問 池上 邦彦
菅 家 慶 広

山岳部は今年度、3年生3名、2年生3名、1年生5名で活動しています。歓迎登山は青木山で、下山後ハーベキューを予定していましたが今回も残念ながら中止。地区大会は沼沢湖の外



輪山である前山（金山町）に日帰りで登りました。県大会は安達太良連峰（鬼面山、箕輪山）です。安達太良山山頂へは荒天のため途中で撤退しました。登山の大会も従来のテント泊メインザックを担いでの縦走などというプログラムでの実施には至っていません。結局登山の本来の醍醐味を十分に味わえないまま3年生は引退となりました。

まいりました。今後の会工山岳部は月1回の登山、そして体力の増進、装備の知識、天気図の作成や読図のレベルアップをはかり、何よりも安全登山、目標は山頂ではなく無事家に帰ることを顧問・生徒とともに意識しながら活動していきたいと思っております。また会津地区の高校山岳部の灯を消さないよう会津高校とともに奮闘し

サッカー部

顧問 江本 城幸
加藤 善 範
太刀川 光

現在サッカー部員は選手35名と女子マネージャー5名の計40名で活動しています。日々のトレーニングだけでなく、保護者

過去会津工業高校サッカー部

は、インターハイ県大会3位、福島県サッカー1リーグ準優勝、福島県サッカー2リーグ優勝、全国高校サッカー選手権大会県大会3位、新人戦県大会優勝と輝かしい成績を収めてきました。厳しい冬の寒さと雪との戦いに言い訳せず、強い気持ちと弱音を吐かず、必死に頑張ってきた「証」とだと考えます。

少子化の影響により部員も昔ほど多くはありません。県大会に出場しても1回戦を突破することがあります。日本サッカー協会の発案により全国プレミアリーグ、北海道・東北・関東・北信越・関西・中国・四国・九州・沖縄フリスリーグ、47都道府県の県リーグ2部2部3部を作り、リーグ戦の中で勝敗を決めて各カテゴリーに昇降格させるシステムを作り上げました。リーグ戦初年度から県リーグ1部に所属していた会津工業高校は、



るようになってからは、練習することができ喜びを噛みしめ、一球一球大切に打ち込んでいます。今後も生徒一丸となって取り組んでいきたいと思っております。ご支援よろしくお願い致します。

バスケットボール部

顧問 阿部 哲也
渡辺 悠
遠藤 悠



私たちバスケットボール部は、選手24名（3年生6名、2年生10名、1年生8名）とマネージャー5名の計29名で会津地区大会優勝を目標にして日々練習に励んでいます。普段の練習ではどんなチームを相手にしても当たり負けしない体作りとディフェンスを強化するためのディフェンス練習を中心に取り組んで

バドミントン部

顧問 山口 将史
栗田 克志
安部 有香子
大塚 正幸



バドミントン部は、男子25名、女子2名、マネージャー2名で活動しています。3年生は、高等学校体育大会県大会、県総合体育大会を終え進路に向かって活動をしています。今年度は、まだまだ現役の山口先生を迎えました。新人戦東北大会を目指し毎日ハードなメニューで練習をしています。運動面だけでなく

く人間性や社会性を育み、すべての方々に感謝の気持ちを忘れず目標に向かって頑張ります。

バレーボール部

男子顧問 小針 勝
女子顧問 渡部 鉄仁
永倉 良正
高橋 英美
バレーボール部は男子部21名、女子部7名で活動しています。常に「意識」することを重要視し、今この練習は何の技術を向上させるために行われているのか、体のどこを意識して動かすべきなのか等、限られた時間の中で内容の濃い練習が出来るように、一つ一つの練習の意義を考え、丁寧にを行っています。女子部では少ない人数の中で、全員が同じ目標に向かって反復練習を日々繰り返し、着実に技術を身に付けています。新型コロナウイルスの影響により、特に3年生は度重なる競技大会の中止・棄権や、練習や遠征等の制限により、貴重な高校での部活動の経験があまり積むことができず歯がゆい思いをしてきました。しかし、腐ることなく日々の練習に励み、男子部では7月に行われた県総体ではベスト4入賞という成績を残すことができました。これもひとえに先生方やOB・OGの方々、多くの方々からご指導・ご助言を頂いたこと、大会の開催に全力を尽くしていただいた運営の



方々、保護者の皆様のサポートのおかげだと思っています。今後も礼儀や感謝の心を大切に、一人一人が人間力を磨き、チームワークを高めて、上位大会での活躍ができるよう、努力していきます。今後ともよろしくお願ひします。

ソフトテニス部

顧問 志田 博隆
本多 裕美
田部 清楓

ソフトテニス部は、新たに1学年男子5名が入部し、男子19名、女子2名の総勢21名で活動しています。今年度の1学年の部員は少なく、特に女子は3年生が引退すると活動ができなくなってしまう。今後、多くの部員が入部してくれることを期待しています。



私たちの活動目標は、地区大会優勝および県大会ベスト8以上進出を掲げており、個人戦においては全員が県大会に出場できるような切磋琢磨しながら練習に励んでいます。この1年間の大会実績は、地区大会男子団体、男子個人戦において優勝、県大会男子団体ベスト16、個人戦ベスト32が最高位で、特に県大会では思うような成果が得られていないのが実情です。本校にテニスコートがないため、会津若松市営のテニスコートをお借りして練習しています。感染症拡大による制約や荒天時の移動など不便を感じることもありますが、目標に向かって部員一丸となって励んでいます。日々の活動が保護者の皆様、応援してくださる地域の方々、先輩方のご支援があつてのことだと忘れず、より一層精進する所存です。今後ともソフトテニ

硬式テニス部

顧問 前田 健登
堀井 敦子
吉田 会津夫



硬式テニス部は、2年生、1年生5名の12名でインターハイ出場を目標として日々の練習に励んでいます。学校にテニスコートがないため、毎日の部活動は会津総合運動公園テニスコートや門田緑地テニスコートで取り組んでいます。日々の練習を経て、団体戦や地区大会の個人戦でのシングルス、ダブルスの上位入賞を目指しています。また、本テニス部員の多くは、これまでにテニス経験がない生徒もいますが、そうした中でも全員が一生懸命取り組んでいます。今年度当初はコロナウイルスの影響で、練習を行う事ができない日々がありましたが、通常通り部活動を行うことができ

柔道部

顧問 菊池 研吾
梅田 智也
部活動指導員 山口 正之



今年度3名の新入部員を迎え、男子5名の部員で活動しています。平日は、16時から19時30分まで、土曜日は8時30分から12時30分までが練習時間となります。日曜日と水曜日は原則休みて学習時間を確保するように配慮しています。

練習は、全員初心者で、柔道を始めて経験する者ばかりです。練習内容は、平日は準備運動、寝技と立技の基本練習を主体に活動しています。その他、寝技の打ち込み、乱取り、立ち技の打ち込み、乱取り、サーキットトレーニングや筋力アップのトレーニングなど多彩に活動しています。長期休業中は合宿や練習試合や遠征など結構ハードな活動をしています。

武道場は、昨年度に全て新しい畳になり、さらに充実した環

熱心に教えて下さる顧問の先生方のおかげです。今という瞬間を大切に、毎日練習に集中して取り組み、一試合でも多く勝つことが私たちの関わりです。会津工業バスケットボール部は、会津工業バスケットボール部らに泥臭いプレーをして勝ち上がっていきたいと思ひます。

野球部

顧問 齋藤 辰也
「チャレンジモンキーズ」挑戦者」

現在野球部は、選手41名（1年8名、2年7名、3年14名）、マネージャー2名で活動しております。

過去の先輩方の教訓を胸に、「二球」にこだわりを持ち日々の練習に取り組んでいます。また、「挑戦者」の看板を選手で



手作りし、グラウンドに掲げて会工野球部らしく泥臭く全力プレーの毎日を過ごしています。悔しい夏から1年、雪積もる冬も熱く過ごし、春から夏にかけてはチームの武器である「会話力」を活かし、時間、仲間、日常に感謝し、「当たり前なこと」を大切に「今」に全力を尽くしました。

すべては夏のためにとそれまでの多くの失敗や悔しさを味わって臨んだ大会。初戦は大会前に敗れていた郡山高校に勝利。3回戦の石川高校にはコールド勝ち、11年ぶりの4回戦では東北王者の聖光学院と対戦。初回に大量失点してしまいましたが、その後は再三のピンチをしのぎ意地の1点を全員野球でもぎとりました。

会工野球部の想いは脈々と引き継がれます。この大会を通して多くの方々の愛を感じることが出来ました。卒業生をはじめ、遠方の方からも激励を受け、応援の力の偉大さを感じました。現役部員はその後ろ盾を受け、さらに会工らしく輝けるように熱い練習に挑みます。引き続き変わらぬご声援をよろしくお願い致します。

剣道部

顧問 馬場 正丈
鶴巢 幸江
今年度は、新入部員が2名入部し、男子5名で馬場先生と鶴



果先生にご指導を頂き稽古に励んで来ました。また、鳥影OB会長をはじめ多くの先輩方にも支援して頂いているおかげでスムーズな活動が出来ています。高校総体では、会津地区大会を勝ち抜き、男子団体戦で県大会に出場することができました。初戦の勿来工業高校に勝ち、2回戦は第一シードの日大東北高校に僅差で敗れました。3年生2名にとっては、高校生活最後の大会参加になりましたが悔いのない試合をすることが出来ました。この2年間は、コロナ禍による対応で練習時間の短縮や練習試合の制限を強いられましたが、最善は尽くせたと思っています。今後は、馬場先生が目標とする正しく強い剣道を体得し、大きな大会でも上位進出が出来るよう稽古に励んでいきます。さらに、日々感謝の気持ちを持ち、人間的な成長も身に付けていきたいと思います。同窓生の方々に古報が届けられるよう努力していきますので、今後とも宜しくお願い致します。

境で練習に取り組み、今年度は、高校大会津地区大会において、団体2位、個人戦では、2階級で優勝、2階級で準優勝という結果でした。

「継続は力なり」という言葉のとおり、部員達は、「休まず努力すること」を念頭に柔道と勉学を両立させて未来に向けて頑張っています。



東北大会にて(盛岡市立総合プール)

1競技に出場できるギリギリの人数です。

本年度の実績は、昨年度に続き機械科3年の嶋井尚哉選手が県高校体育大会で100mバタフライ、200mバタフライ両種目で5位、400mフリーリレーで8位に入賞し、東北大会出場を果たしました(写真)。

また、今年度から部活動指導員に山口正之先生、顧問に梅田智也先生をお迎えし、私含めて3名の指導者で指導をしておりま

水泳部

顧問 洪川 順一
岩澤 巖

水泳部は、12名(3年生5名、2年生7名(内女子1名))で活動しています。本年度は、新入生の入部者がなく、とても厳しい状況です。2学期からは3年生が引退し2年生だけとなるため、7名での活動となります。7名のうちマネージャーが2名で、実働選手は男子4名、女子1名の5人です。これは、リレ

スキー部

顧問 茂木 利幸

会津工業高校スキー部はなかなか生徒も少なく本来ならば、アルペン競技とクロスカントリー競技の2種目なのですが、今年度はクロスカントリー競技2名で活動しています。

昨年度はアルペン、クロカン共に県大会優勝と全校高校大会



写真は大会の写真です。

陸上競技部

顧問 雪下 良治
石崎 晃
大石 友里恵

選手30名(男子28名・女子2

名)、マネージャー5名(女子)で新たなスタートを切った。令和4年度、男子円盤投げ・ハンマー投げで3年機械科の伊藤陽生(いとう はるき)が東北大会に進出、同じく3年建築インテリア科の福来海(ふくらいかい)が八種競技で東北大会に進出し6位という成績をあげました。本来6位までが全国インターハイに出場できますが八種競技は3位までというルールです。県大会で大きく自己記録を更新した福来でしたが東北大会では各種目で苦戦しました。大会後の振り返りではこれまでの取り組みに甘さがあつたことを反省し、後輩達に貴重なアドバイスを送っていました。

県高校駅伝においては7位で6位入賞まであと一歩という結果でした。6位の日大東北高校とは58秒差。東北大会出場の5位会津高校とは2分42秒差。一人一人のタイムに換算すれば日大東北とは8.2秒(約40m)、会津高校とは23.1秒(約120m)の差です。結果論ではありますが一人一人がこの差を埋めるための取り組みをどこまでできたのだろうかという振り返りをしました。

インターハイも高校駅伝も結果を踏まえ自分の取り組みをどこまで頑張れるかが来年度の競技成績を左右すると思います。学校生活も含めて自分を律し、正しい行いを継続できる生徒を育成するための部活動としていきます。今後とも応援のほどよろしくお願いいたします。

卓球部

顧問 児島 二郎
境 拓哉

「会工卓球部」と言えば、会津地区においては、そこそこのネームバリューがある。各種大会の上位に少なからぬ数の選手を送り込み、他チームから、十分に警戒されているにも関わらず、大会毎にいくつものトロフィーを持ち帰ってきている。結果だけを見るならば、強いチームである。しかしながら、会津地区全体の卓球レベルが下がってきており、そこでの勝利に満足しては、上位大会では通用しない。実際、何年前には、県大会でベスト4をかけて、強力な県中、県北勢と競いあっていたのだが、最近の県大会では、団体、ダブルス、シングルス、いずれも、1回戦、2回戦でノーシードのチーム、選手に



部活動を成績不振の言い訳にはさせない。県大会で上位に入るような選手でさえ、卓球では「食べて」いけないのだ。部活動も勉強も大事にする。やるべきこと、その優先順位を間違わずに活動できる選手が多く存在する部で在ってほしいと思っている。

部活動を成績不振の言い訳にはさせない。県大会で上位に入るような選手でさえ、卓球では「食べて」いけないのだ。部活動も勉強も大事にする。やるべきこと、その優先順位を間違わずに活動できる選手が多く存在する部で在ってほしいと思っている。

弓道部

顧問 藤田 康平
武山 小百合
星 義一



今年度は、3年生13名、2年生8名、1年生11名の計32名でOBやOG、保護者の方々に支えられて活動しています。

令和4年度は地区インターハイ男子個人ベスト8、女子個人4位、県インターハイ出場、地区総合体育大会男子個人3位という成績を残すことができました。

新型コロナウイルス感染症対策のため練習時間の確保や大会等ができない状況の中、全国大会出場を目指し、一人一人が意識を高く持ち限られた練習時間の中でそれぞれがベストを尽くしています。又、顧問と部員が一丸となって、会津工業高校の伝統を大事に練習を重ね、目

空手部

顧問 佐藤 聖

M科3年1組 川島 昂 大
会津工業高校空手部は、私・川島昂大の代を最後に残念ながら休部となります。

空手には演武の技量を競う「形」と、相手と戦う「組手」があります。練習では、基本の突きや蹴りから始まり、全身に重りをつけてのシャドーやミット打ちなどの応用練習、実践形式のスパarring、また何種類もの形等を打っています。

入部した当初は、毎日筋肉痛等に悩まされ、吐くほどキツク、外部コーチとの組手ではボコボコにされて手も足もでませんでした。ですが、どんどん強くなっていくのが嬉しくてスパarring中はどうにも殴られても「ずっと笑ったぞ」とコ



標達成に向けて全力で努力してきたいと思っています。

イチに毎回言われる程 夢中になっていったのだと感じます。気付けば部員も減り、一人になってしまいましたが、殴り合っている時のスリルが楽しくて、言わば生き甲斐でした。

コーチとも対等に戦えるレベルになり、最後の大会では自分でも手応えを感じていましたが、残念ながら判定負けをしてしまいました。

今まで全国で戦っている自分の姿を想像して、それをモチベーションに頑張ってきたので、負けた時の虚無感は相当なものでした。この悔しさを後輩に託す事は出来ませんが、歴史ある空手部の最後の部員として活動できた事を誇りに思います。顧問の聖先生、村田先生、そしてコーチの藤田さん、今まで大変お世話になりました。

ボクシング部

顧問 長谷沼 徹
部活動指導員 遠藤 広大

今年度のボクシング部は3年生3名、2年生7名(女子マネージャー1名)、1年生5名の合計15名でスタートしました。昨年度に引き続き、部活動指導員として、遠藤広大コーチにもご指導頂いています。

練習は、会津第二高等学校の篠原宏和先生のご指導の下、北3棟3階の練習場で行っています。放課後は基礎的なトレーニ



ングと実践的なトレーニングを日替わりで2時間程度、休日にはより実践的なトレーニングを2時間程度行います。

今年度は、第76回東北高等学校ボクシング選手権大会を6月24日(金)から26日(日)まで会津若松市河東総合体育館で開催されました。コロナ対策を実施しての開催の為、生徒会役員にも運営の手伝いをして頂きながら、開催しました。結果はフライ級で3Eの湯浅和樹君が優勝しました。

そして、「打ち破れ 全国の壁 自己の壁」の気持ちで臨んだ、7月末に行われた四国総体2022では、フライ級で3Eの湯浅和樹君、バンタム級で3Eの雪下広大君、ライト級で2M1遠藤羽君、ライトウェルター級で、3M1郡司和歩君、ミドル級で2E田口敬斗君の5名が出場しましたが、全国の壁は高く、険しく、郡司君の1勝で終わりました。

悔しさの残る結果とはなりましたが、今出せる力を出しきることができました。後輩たちに

遅れをとっている。技術面、体力面、精神面のどこかに、もしくは全において劣っているところがある。同じコートであっても、1回戦、2回戦とベスト4とでは、見える景色が違い、得るものも違うのだ。上位大会での活躍を期待したい。

会工卓球部は、割としっかりした練習メニューをルーティン化し、守り行っている。定期考査前は部活動を休みにし、勉強に時間を割くよう指示し、実践させている。

部活動を成績不振の言い訳にはさせない。県大会で上位に入るような選手でさえ、卓球では「食べて」いけないのだ。部活動も勉強も大事にする。やるべきこと、その優先順位を間違わずに活動できる選手が多く存在する部で在ってほしいと思っている。

美術部

顧問 佐瀬 和久



美術部では、展覧会やコンクールに向けた作品制作に日々取り組んでいます。今年度は、7月に開催した会津地区高校美術連盟展に8点出展し、完成度の高いアクリル画や切り絵を展示することができました。8月には公募のデザインコンクール等にも出品する予定です。昨年はキャラクターコンテストやイラ

上位入賞という思いを託す形にはなりませんが、区切りの良い引退となりました。

部活動を通して学んだことを、日々の行動や就職後の生活に活かして、これからも頑張っていきたいと思っています。

最後に、1・2年生の選手とマネージャーが、これからももっとも成長していきますので、今後とも温かいご声援をお願いいたします。

ストコンテストで入賞することができました。

2学期以降は10月会津稽古堂で行われる「U・18の作品展」、12月に若松市文化センターで開催予定の「県高校美術展」、1月下旬より喜多方市立美術館で開催される「高校生・あいつ美術展」に参加出品予定です。展覧会に出展する作品はキャンバスに風景画や静物画を描いており、コンクールにはイラストやキャラクターデザインの作品を出品しています。また、高文連美術工芸専門部会津支部主催の「高校生のための実技講習会」に3名が参加し、人物デッサンの技能を高めました。部員数は少ないですが、表現活動に邁進しています。

吹奏楽部

顧問 栗城 和枝
大木 孝之
岩橋 学



現在、吹奏楽部は14名で活動しています。少人数ではありますが

すが、金管木管それぞれのパートの不足はできる限り他の楽器で音をカバーし工夫することと和声づくりをしています。部員の個性と表現の幅を生かし、小編成ならではの演奏の楽しみの領域が広がりました。コロナ収束がみられない中でも、6月には全会津音楽学習発表会が開催されるなど、通常の演奏活動ができるようになりました。

夏の吹奏楽コンクール会津支部大会では、「小編成の部」において銀賞を受賞し、県大会出場権を獲得することができました。県大会では銅賞でしたが、30名編成の団体が多い中、少人数でも堂々と部員一人一人が役割を果たし演奏してまいりました。一つでも多くステージに立てる喜びを感じ貴重な経験を積むことができました。



演劇部

顧問 熊谷 好広

演劇部は現在、7名の3年生が春の発表会を最後に引退したため、2年生3名、1年生4名の計7名で活動しています。少ない人数ではありますが、皆が協力して日々の練習に励んでいます。9月には「秋のコンクール」があります。このコンクールが唯一、上位大会へ進める大会となるので、まずは県大会出場を目指して頑張っています。普段は、発声、活舌、柔軟運動などの基礎力強化練習をしています。大会が近づいてくると、上演する劇の脚本作成、読み込み、役作り等を通して劇を仕上



げていきます。お互いに意見を出し合いながら良い作品になるよう努力を重ねています。時には部員同士の意見がぶつかり合うこともあり。でもその後には劇がよくなり、部員同士の関係も深まるので、お互いの意見交換や意思疎通は大事にしています。また、時間を作って練習を見に来てくれる先輩たちからの助言も大きな力となっています。コロナ禍の現在、コンクールは保護者のみの入場制限をしており、多くの方に劇を見ていただくことが難しい状況ですが、部員たちは以前と変わらず「全員で良い作品を作ろう」という気持ちで頑張っています。これからも、全員が楽しんで取り組める部活動づくりを目指し、一人一人が部のために何をすべきか考えて、最高の部にしていきます。

写真部

顧問 片寄 悦広

ここ数年は40名ほどが入部するものの4分の1の10名程度が実際に活動するのが実態となっている。少数精鋭の部員は会津地区の古文連写真専門部が主催する技術講習会や合同撮影会に参加し、他校の生徒とグループを組んで活動する貴重な機会を得て、感性・技術面で多くのことを学び作品の制作に臨んでいる。特に今年の7月に実施された合同撮影会では、若松市内を周遊するバスに乗り、生徒一人ひとりが思い思いに会津ならではの古き良き町並みや、風景を撮影して地域の良さをより深く理解し、学ぶ貴重な機会とすることができた。今後は11月に開催される福島県高等学校総合文化祭写真展に出展する作品の撮影を精力的に行い、部員同士が切磋琢磨しあいがえのない一瞬を作品として残し達成感を得られる活動が展開できるよう努力していきたい。



茶道部

顧問 鈴木 美枝子

今年度の茶道部は3年生3名、2年生5名、1年生3名の合計11名で活動しています。教えていたにいたっているのは茶道裏千家淡交会の神田恵子（宗恵）先生です。

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で例年参加させていた「ふれあい茶会」「あやめ祭り」が中止となりました。



しかし昨年度は会工祭ステージ発表で練習の成果を披露することができました。主人・半東・正客・次客・影だし・司会・音響・ステージセティング等役割分担を決めリハールをして当日を迎えました。会工祭は3年に一度である上に現在の部員は地域行事の経験もないので全員が初めての経験でした。コロナ禍で会工祭実施も危ぶれましたが発表の機会を得て良かったです。

生活科学同好会は、学年・科を問わず、いつも穏やかな雰囲気で行っています。

年度初めは感染拡大のため、活動を自粛しておりましたが、マスク着用・消毒の徹底、少人数での調理等の対策をすることにも、その場での試食はしないお持ち帰り限定メニューにして活動しております。

自分たちで作った料理やお菓子を感想を言い合いながら試食をするのは、生徒にとっては一番の楽しみであるので、以前のような活動ができる日が一日も早く戻って来ることを願っております。

また、今後は料理コンテスト



生活科学同好会

顧問 齋藤 桂子

今後とも「和敬清寂」の教えを心にとめ活動が続けていきたいと思います。

建築インテリア部

顧問 飯塚 誠

建築インテリア部の中心活動は、高校生ものづくりコンテスト木材加工部門への参加と国家検定である技能検定試験の3級技能士（職種・建築大工）への受験、合格です。

ものづくりコンテストには、例年4名の選手が出場しており、まじめに活動をし、丁寧に作品を仕上げられる選手が選ばれています。今まで経験を積んできた3年生の指導、また、外部講師として倉本建築㈱の倉本文夫先生からのご指導をいただき練習をしています。倉本先生の指導は、現場での実践やノミを研いでいただいたりと道具の手入れの仕方も教えていただき、良い経験となります。大会結果としては例年6位〜12位となることが多かったですが、令和3年



ノミ加工

度の大会では4位を取ることが出来ました。

検定試験への受験には、建築インテリア部以外の受験希望者も複数名受験していますが、建築インテリア部の生徒とともに受験前の2カ月半ほどの期間で練習をしています。建築インテリア部ではない生徒は、実習でノコギリやノミの加工を体験しているだけなので、私達が教えることで、私達自身の技術も上がっていると感じます。受験結果としては、コロナによる受験停止者を除き、令和3年度は9名合格しています。

大会への参加や資格試験への挑戦で結果を残すことも大切ですが日々の練習を自分の糧として、部活動を通して成長していきたいと考えています。

セラミック化学部

顧問 大濱 達明

セラミック化学部では、地域貢献班、陶芸班、化学分析班の3班に分かれ現在10名で活動しています。

地域貢献班では夏に開催される「せと市」で陶芸班が制作した陶磁器を販売したり、産業フェアなどで「ろくろ体験」を通して地域の方々に喜んでもらっています。しかし、ここ2年間はコロナにより多くのイベントが中止になり、活動することができませんでした。陶芸班では粘土を練り、ろく



ろを回し抹茶碗や花瓶などを制作しています。これ以外にも、美展などに制作した作品を出展し入賞したりしています。

また、技術向上のため陶芸技能検定等、資格取得を目指し日々練習をしています。

化学分析班では、10月に行われる「ものづくりコンテスト化学分析部門」に向け、活動を行っています。昨年の大会では同率1位だったものの、惜しくも1位を逃し2位という結果でした。過去には全国大会まで出場し、入賞した先輩もいます。来年度、多くの新しい年生の入部を期待し活動を続けていきます。



機械研修部(カート班)

顧問 高畑 利夫

今年の機械研修部(カート班)は、3年生5名、2年生3名、

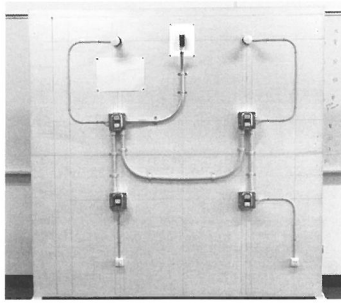


電気部

顧問 中丸 淳

電気部の活動としては、第二種電気工事士・第一種電気工事士の技能のサポート中学生体験入学における学科説明のサポート、ものづくりコンテスト県大会への出場。また各種資格取得の後輩への指導などです。

特にものづくりコンテスト県大会電気工事部門では常に優勝を目指しております。



IT研究部

顧問 池田 政人

IT研究部は情報技術科と電気情報科の生徒からなる部活動で、R4年度は28名が所属しています。「パソコン甲子園」を始め各大会に向けて練習に励む生徒や、資格取得を目指して学習をする生徒がそれぞれの目標に向けて活動をしています。今年度は「ジャパンマイコンカールリーベリック部門とカメラ部門」「マイクロボコン高校



生大会「ロボットアイデア甲子園」に出場を予定しており、「高校生ものづくりコンテスト」には1名、「パソコン甲子園プログラミング部門」には4名が参加します。国内の状況によっては大会の開催方法が変わるかもしれませんが、技術を競い合う機会が失われないことを祈るばかりです。資格取得を目指す生徒は、ITパスポート試験、基本情報技術者試験、工事担任者第二級デジタル通信（旧DD第3種）などに挑戦中です。CBT方式を新たに取り入れた資格試験が増え、試験に挑む機会が増えました。目標を定めて是非合格して欲しいところです。幅広く活動続ける生徒達に応援をお願いします。

各支部役員名

地 区	役 職	名 前	卒業年
東 京	名誉顧問	室井 忠 六	S24T
	顧問	五十嵐 栄	S24T
	顧問	問 綿 弘	S34T
	顧問	鵜 川 平四郎	S21L
	顧問	五十嵐 清 夫	S33K
	顧問	岡 島 弘 雄	S29C
	顧問	田場川 善 善	S27M
	顧問	金子 昌 輝	S32A
	顧問	五十嵐 昭 夫	S35A
	副 会 長	堀 中 健 雅	S42E
	副 会 長	伊 藤 孝 宏	S36E
	副 会 長	戸野 武 彦	S38M
	副 幹 事	長 島 政 彦	S40M
	副 幹 事	長 水 渡 強	S41G
	副 幹 事	長 水 渡 俊	S46M
	副 幹 事	長 水 渡 男	S44M
	副 幹 事	長 水 渡 男	S40M
	副 幹 事	長 水 渡 男	S43E
	副 幹 事	長 水 渡 男	S43K
	副 幹 事	長 水 渡 男	S41T
	副 幹 事	長 水 渡 男	S39K
	副 幹 事	長 水 渡 男	S35C
	副 幹 事	長 水 渡 男	S37C
	副 幹 事	長 水 渡 男	S46C
	副 幹 事	長 水 渡 男	S43G
	副 幹 事	長 水 渡 男	S43G
	副 幹 事	長 水 渡 男	S43G
	副 幹 事	長 水 渡 男	S40A
	副 幹 事	長 水 渡 男	S40A
	副 幹 事	長 水 渡 男	S46A
	副 幹 事	長 水 渡 男	S30E
	副 幹 事	長 水 渡 男	S31T
	副 幹 事	長 水 渡 男	S31T
	副 幹 事	長 水 渡 男	S35A
	副 幹 事	長 水 渡 男	S36E
	副 幹 事	長 水 渡 男	S33K
	副 幹 事	長 水 渡 男	S41A
	副 幹 事	長 水 渡 男	S41G
	副 幹 事	長 水 渡 男	S35T
	副 幹 事	長 水 渡 男	S36T
	副 幹 事	長 水 渡 男	S45A
	副 幹 事	長 水 渡 男	S48M
	副 幹 事	長 水 渡 男	S58A
	副 幹 事	長 水 渡 男	S56M
	副 幹 事	長 水 渡 男	S42E
	副 幹 事	長 水 渡 男	S30K
	副 幹 事	長 水 渡 男	S31T
	副 幹 事	長 水 渡 男	S30C
	副 幹 事	長 水 渡 男	S32T
	副 幹 事	長 水 渡 男	S43T
	副 幹 事	長 水 渡 男	S44M
	副 幹 事	長 水 渡 男	S45M
	副 幹 事	長 水 渡 男	S31E
	副 幹 事	長 水 渡 男	S39E
	副 幹 事	長 水 渡 男	S37T
	副 幹 事	長 水 渡 男	S34M
	副 幹 事	長 水 渡 男	H16M
	副 幹 事	長 水 渡 男	S35K
	副 幹 事	長 水 渡 男	H13E
近 畿	顧問	問 綿 弘	S32K
	顧問	問 綿 弘	S38K
	顧問	問 綿 弘	S40E
	顧問	問 綿 弘	S43E
	顧問	問 綿 弘	S43G
	顧問	問 綿 弘	S41M
	顧問	問 綿 弘	S41K
	顧問	問 綿 弘	S45A
	顧問	問 綿 弘	S40E
	顧問	問 綿 弘	S51A
	顧問	問 綿 弘	S28A
	顧問	問 綿 弘	S42M
	顧問	問 綿 弘	S43M
	顧問	問 綿 弘	S55M
	顧問	問 綿 弘	S58A
若 松	顧問	問 綿 弘	S52M
	顧問	問 綿 弘	H06D
	顧問	問 綿 弘	H05A
	顧問	問 綿 弘	S35T
	顧問	問 綿 弘	S40E
	顧問	問 綿 弘	S18T
	顧問	問 綿 弘	S21M
	顧問	問 綿 弘	S30M
	顧問	問 綿 弘	S38C
	顧問	問 綿 弘	S38C
	顧問	問 綿 弘	S38C
	顧問	問 綿 弘	S38C
	顧問	問 綿 弘	S38C
	顧問	問 綿 弘	S38C
	顧問	問 綿 弘	S38C

地 区	役 職	名 前	卒業年
郡 山	事務局	菊 井 徹 哉	S58D
	監 事	佐 藤 友 穂	S42D
	監 事	小 渡 久 寛	S24M
	監 事	小 渡 久 寛	S38C
	監 事	小 渡 久 寛	S39E
	監 事	小 渡 久 寛	S39E
	監 事	小 渡 久 寛	S40E
	監 事	小 渡 久 寛	S31M
	監 事	小 渡 久 寛	S34C
	監 事	小 渡 久 寛	S24L
	監 事	小 渡 久 寛	S27C
	監 事	小 渡 久 寛	S43A
	監 事	小 渡 久 寛	S29A
	監 事	小 渡 久 寛	S32K
	監 事	小 渡 久 寛	S41K
	監 事	小 渡 久 寛	S47D
	監 事	小 渡 久 寛	S48A
	監 事	小 渡 久 寛	S44A
	監 事	小 渡 久 寛	S45C
	監 事	小 渡 久 寛	S52M
	監 事	小 渡 久 寛	S59A
	監 事	小 渡 久 寛	S49A
	監 事	小 渡 久 寛	S52D
	監 事	小 渡 久 寛	S49A
	監 事	小 渡 久 寛	S52M
	監 事	小 渡 久 寛	S62M
	監 事	小 渡 久 寛	H05E
	監 事	小 渡 久 寛	H05A
	監 事	小 渡 久 寛	H08D
	監 事	小 渡 久 寛	H11A
	監 事	小 渡 久 寛	H11In
	監 事	小 渡 久 寛	H06E
	監 事	小 渡 久 寛	S52T
	監 事	小 渡 久 寛	H14F
	監 事	小 渡 久 寛	H06E
	監 事	小 渡 久 寛	S50K
	監 事	小 渡 久 寛	S52C
	監 事	小 渡 久 寛	S37A
	監 事	小 渡 久 寛	S37T
	監 事	小 渡 久 寛	S40E
	監 事	小 渡 久 寛	S41E
	監 事	小 渡 久 寛	S48M
	監 事	小 渡 久 寛	S47A
	監 事	小 渡 久 寛	S50M
	監 事	小 渡 久 寛	S52M
	監 事	小 渡 久 寛	S48M
	監 事	小 渡 久 寛	S42M
	監 事	小 渡 久 寛	S49A
	監 事	小 渡 久 寛	S49A
	監 事	小 渡 久 寛	S49G
	監 事	小 渡 久 寛	S49A
	監 事	小 渡 久 寛	S49G
	監 事	小 渡 久 寛	S52A
	監 事	小 渡 久 寛	S26M
	監 事	小 渡 久 寛	S33T
	監 事	小 渡 久 寛	S50E
	監 事	小 渡 久 寛	S39K
	監 事	小 渡 久 寛	S39K
	監 事	小 渡 久 寛	S49A
	監 事	小 渡 久 寛	S34E
	監 事	小 渡 久 寛	S43E
	監 事	小 渡 久 寛	S53A
	監 事	小 渡 久 寛	H06C
	監 事	小 渡 久 寛	S45D
	監 事	小 渡 久 寛	S48K
い わ き	顧問	問 綿 弘	S28A
	顧問	問 綿 弘	S28E
	顧問	問 綿 弘	S32E
	顧問	問 綿 弘	S39A
	顧問	問 綿 弘	S34A
	顧問	問 綿 弘	S47F
	顧問	問 綿 弘	S48A
	顧問	問 綿 弘	S37L
	顧問	問 綿 弘	S36M
	顧問	問 綿 弘	S37M
	顧問	問 綿 弘	S43A
	顧問	問 綿 弘	S45A
	顧問	問 綿 弘	S51A
	顧問	問 綿 弘	S51A
	顧問	問 綿 弘	S55A
建 友 会	顧問	問 綿 弘	S43A
	顧問	問 綿 弘	S45A
	顧問	問 綿 弘	S51A
	顧問	問 綿 弘	S51A
	顧問	問 綿 弘	S55A
	顧問	問 綿 弘	H05A
	顧問	問 綿 弘	S54A
	顧問	問 綿 弘	S54A
	顧問	問 綿 弘	S54A
	顧問	問 綿 弘	S54A
	顧問	問 綿 弘	S54A
	顧問	問 綿 弘	S54A
	顧問	問 綿 弘	S54A
	顧問	問 綿 弘	S54A
	顧問	問 綿 弘	S54A

(令和4年8月現在)					
地 区	役 職	名 前	卒 業 年		
建 友 会	副 監 事	馬 場 一 登	H08A		
	副 監 事	山 口 武 彦	S59A		
	副 監 事	川 口 正 義	S29E		
	副 監 事	明 本 正 義	S30E		
	副 監 事	荒 根 本 雄	S36E		
	副 監 事	野 田 良 三	S37E		
	副 監 事	佐 野 常 三	S31E		
	副 監 事	鹿 成 明 良	S40E		
	副 監 事	栗 田 隆 彦	S35E		
	副 監 事	谷 城 隆 彦	S36E		
	副 監 事	近 藤 隆 彦	S40E		
	副 監 事	近 藤 隆 彦	S40E		
	副 監 事	白 井 達 一	S47E		
	副 監 事	大 丸 達 一	S43E		
	副 監 事	中 丸 達 一	S37E		
	副 監 事	渡 部 幸 史	S40E		
	副 監 事	渡 部 幸 史	S43E		
	機 友 会	副 監 事	片 平 寛 和	S32M	
		副 監 事	栗 城 和 富	S41M	
副 監 事		横 川 牧 雄	S43M		
副 監 事		川 部 田 部	S45F		
副 監 事		武 田 芳 哲	S52M		
副 監 事		渡 部 田 部	S47M		
副 監 事		武 田 芳 哲	S55M		
副 監 事		渡 部 田 部	S52M		
副 監 事		佐 藤 一 之	S32M		
副 監 事		本 佐 厚 義	S42M		
副 監 事		幹 事 幹 事	S47M		
副 監 事		幹 事 幹 事	S55M		
副 監 事		幹 事 幹 事	S56M		
副 監 事		幹 事 幹 事	S55M		
副 監 事		幹 事 幹 事	S58M		
副 監 事		幹 事 幹 事	S32K		
副 監 事		幹 事 幹 事	S34K		
副 監 事		幹 事 幹 事	S32K		
副 監 事		幹 事 幹 事	S37K		
副 監 事		幹 事 幹 事	S21K		
副 監 事		幹 事 幹 事	S29K		
副 監 事		幹 事 幹 事	S32K		
副 監 事		幹 事 幹 事	S32K		
副 監 事		幹 事 幹 事	S33K		
副 監 事		幹 事 幹 事	S34K		
セ ラ 友 会	副 監 事	邊 見 輝 夫	S34K		
	副 監 事	梨 子 本 傑	S41K		
	副 監 事	水 松 本 俊	S39K		
	副 監 事	谷 川 利 彦	S39K		
	副 監 事	近 宗 青 利	S41K		
	副 監 事	野 山 孝 浩	S50K		
	副 監 事	小 星 野 啓	S43K		
	副 監 事	川 村 清 一	S49K		
	副 監 事	木 村 健 一	S50K		
	副 監 事	木 村 俊 一	H07F		
	副 監 事	森 猪 一 郎	S48K		
	副 監 事	永 永 勝 郎	S48K		
	副 監 事	五十 峯 久 幸	S52K		
	副 監 事	手 代 木 崇 志	S53K		
	副 監 事	相 木 隆 彦	S57K		
	副 監 事	木 村 健 志	H05K		
	副 監 事	部 内 平 男	H07F		
	副 監 事	渡 部 祐 平	H16F		
	副 監 事	箭 一 健 若	S58K		
	副 監 事	古 川 義 市	H19F		
	副 監 事	岡 内 夫 夫	S48K		
	副 監 事	村 石 夫 夫	S41K		
	副 監 事	局 田 健 光	S58K		
	副 監 事	局 崎 塚 幸 一			
	副 監 事	局 石 大 好			
副 監 事	局 熊 谷 達 明				
副 監 事	局 太 刀 川 光				
日 立 会 工 会		五十 峯 慧 夫	S55K		
日 曹 金 属 化 学 株 式 会 社		二 瓶 雅 孝	H20F		
昭 和 電 工 株 式 会 社		大 山 栄 孝	S26M		
三 菱 製 鋼 株 式 会 社		珊 瑚 優 治	H04J		
三 菱 製 鋼 株 式 会 社		高 橋 誠	H03C		
三 菱 製 鋼 株 式 会 社		高 橋 誠	S46E		
三 菱 製 鋼 株 式 会 社		高 橋 誠	S59C		
三 菱 製 鋼 株 式 会 社		高 橋 誠	S60E		

●西会津支部 平成26年7月解散

会工同窓会本部役員

役職名	氏 名	卒年	備 考
顧問	若 狭 春 生	S38K	本部選出・松江春次顕彰会会長
顧問	藤 田 晴 史	S40E	本部選出
会 長	浅 田 誠	S43E	本部選出
筆頭副会長	荒 井 誠 一	S49A	本部選出
副 会 長	荒川富士雄	S43M	本部選出・機友会会長・参与・会報編集委員
副 会 長	田 中 健 一	S42E	東京会工会会長・参与
副 会 長	栗 城 和 夫	S41M	前機友会会長・参与
幹 事 長	木 村 洋 一	S50K	本部選出
副 幹 事 長	佐 藤 義 之	S42M	本部選出
副 幹 事 長	石 田 功	S43G	本部選出・若松会工会会長・参与
副 幹 事 長	白 井 達 夫	S43E	本部選出・会工電友会事務局長
副 幹 事 長	菊 地 壽 雄	S48D	本部選出・会報編集委員長
副 幹 事 長	渡 部 哲	S52M	本部選出
幹 事	江 花 光 泰	S31L	本部選出・会報編集委員
幹 事	安 藤 昭 男	S35T	本部選出
幹 事	近 藤 信 行	S40E	本部選出
幹 事	長 谷 川 利 彦	S41K	本部選出
幹 事	武 田 芳 仁	S47M	本部選出
幹 事	長 尾 好 章	S50T	本部選出
幹 事	菅 原 正 晴	S51A	本部選出・建友会副会長
幹 事	田 勢 光 夫	S51A	本部選出・若松会工会幹事長・会報編集委員
幹 事	岩 渕 浩 之	S54L	本部選出
幹 事	森 田 哲 郎	S55M	本部選出
幹 事	渡 部 優 生	S55M	本部選出
幹 事	佐 藤 満	S56A	本部選出
幹 事	村 澤 智	S62E	本部選出
幹 事	渡 部 恵 千 子	H06D	本部選出
幹 事	戸 野 部 武 彦	S40M	東京会工会幹事長
幹 事	五 十 嵐 強	S48M	東海会工会幹事長
幹 事	本 名 雄 一	H13E	近畿会工会事務局長
幹 事	佐 藤 亨	S38C	郡山会工会幹事長
幹 事	星 秀 明	S40E	福島会工会幹事長
幹 事	遠 藤 幸 喜	S59A	坂下会工会幹事長
幹 事	長 谷 川 与 一	S40E	猪苗代会工会副会長
幹 事	小 椋 敬 司	S47F	いわき会工会幹事長
幹 事	佐 野 常 雄	S31E	湯川会工会幹事長
幹 事	菊 地 登 貴 雄	S52M	機友会幹事長
幹 事	青 山 孝 男	S43K	セラ友会幹事長
幹 事	五 十 嵐 慧 夫	S26M	日立会工会会長
幹 事	二 瓶 雅 孝	H04J	日曹金属化学(株)会工 連絡担当
幹 事	大 塚 裕 一 郎	H03C	昭和電工(株)会工会長

役職名	氏 名	卒年	備 考
幹 事	珊 瑚 優 治	S59C	三菱製鋼(株)広田製作所会工会会長
幹 事	高 橋 誠	S60E	三菱マテリアル(株)若松製作所鶴友会会長
監 事	二 瓶 正 人	S37K	前セラ友会会長・参与
監 事	小 山 源 昭	S38A	前建友会会長・参与
監 事	鹿 目 忠 明	S40E	会工電友会会長・参与
参 与	高 梨 哲 夫	S55M	前会津工業高等学校校長
参 与	田 中 健 一	S42E	副会長・東京会工会会長
参 与	三 井 正 春	S41A	東海会工会会長
参 与	石 川 善 一	S39E	近畿会工会会長
参 与	石 田 功	S43G	副幹事長・若松会工会会長
参 与	福 地 勝	S30M	郡山会工会会長
参 与	二 瓶 嘉 人	S39E	福島会工会会長
参 与	渡 部 正 司	S47D	坂下会工会会長
参 与	五 十 嵐 一 夫	S43A	前坂下会工会会長
参 与	江 花 俊 和	S37T	猪苗代会工会会長
参 与	山 口 一 男	S37A	前猪苗代会工会会長
参 与	野 中 寿 勝	S50E	会津美里会工会会長
参 与	梅 宮 昭	S39A	いわき会工会会長
参 与	白 井 武 男	S45A	建友会会長
参 与	小 山 源 昭	S38A	前建友会会長
参 与	鹿 目 忠 明	S40E	会工電友会会長・監事
参 与	荒川富士雄	S43M	副会長・機友会会長・会報編集委員
参 与	栗 城 和 夫	S41M	副会長・前機友会会長
参 与	梨 子 本 傑	S41K	セラ友会会長
参 与	二 瓶 正 人	S37K	前セラ友会会長・監事
参 与	曾 根 賢 治	S36L	前会工美修会会長
参 与	坂 内 茂 男	S32K	前監事
事 務 局 長	中 丸 淳	S55K	事務全般
事 務 局	菅 家 慶 広	S56A	事務全般
事 務 局	渡 部 鉄 仁	S54A	鶴翔会館管理運営
事 務 局	大 濱 達 明	S55K	会報編集委員
事 務 局	真 田 郁 夫	S57E	会報編集委員
事 務 局	錫 巢 幸 江	S58M	本部会計・会報編集委員
事 務 局	雪 下 良 治	S63A	本部会計
事 務 局	馬 場 正 丈	H02M	会報編集委員
事 務 局	永 峯 宏 彦	H11M	寄贈マイクロバス管理運営
事 務 局	星 義 一	H12A	鶴翔会館管理運営
事 務 局	渡 辺 学	H13A	本部会計
事 務 局	太 刀 川 光	H20F	会報編集委員



**次回第116回総会は
2023年10月14日(土)に開催しますので、
是非ご参加ください！**



同窓会会報編集委員

2022年、会工は創立120周年を迎えました。母校の記念式典と3年ぶりの会工同窓会総会が対面で開催されました。

同窓会報第47号も無事発行できました。厚く御礼申し上げます。同窓会支部会の皆様や母校の在校生、関係各位の皆様にご協力をお願いしました。特に120周年記念誌の発行作業と重なる中での寄稿のご提示に、深く感謝申し上げます。残念ながら、例年のように全国の会員の皆様から、希望する寄稿を募ることができませんでした。大変申し訳なく思っております。

ウイズコロナの生活が主流となり、会員の皆様には、お元気に活動してください。次号の発行には皆様の活動の様子や様々な想いをお寄せいただき、事務局にお願いいたします。

『会工同窓会報』編集委員一同

編集後記

令和4年(2022) 福島県立会津工業高等学校 創立120周年記念事業報告

記念行事 令和4年(2022年)10月15日(土) 10:00～

- 120周年記念式典 本校南体育館
出席者／ご来賓 受賞者 在校生 教職員 事業実行委員
- 記念講話 「ボクシングで学んだこと」
東京オリンピック ボクシング女子フェザー級金メダリスト 入江聖奈 選手
- 記念祝賀会 ホテルいづみや 式典受賞者(招待者)、記念講話講師、ご来賓各位、教職員、同窓会総会参加者66名で開催

記念出版

- 創立120周年記念誌 会工賛歌 ～未来を創造する鶴翔～
- 創立120周年記念版 同窓会会員名簿 令和4年版

感謝状・表彰状贈呈者(敬称省略)

- 企業紹介 日吉工業株式会社 会津土建株式会社 鈴木建設株式会社
株式会社会津電気工事 ハッ橋設備株式会社 株式会社マコト精機

○同窓会会員(特別会員)の受賞者紹介

特別表彰(百寿) 神田 忠志(S15K卒)

功 労 者 遠藤 昭二(S55M卒)

歴 代 校 長 第27代 根本 和次 第28代 二瓶 益幸
第29代 二瓶 賢一 第30代 高梨 哲夫(S55M卒)

歴代同窓会長 第18代 若狭 春生(S38K卒) 第19代 藤田 晴史(S40E卒)

歴代PTA会長 第23代 長尾 好章(S50T卒) 第26代 森田 哲郎(S55M卒)

永年勤続者(現旧教職員)
相原 正裕 石田 由紀子 江本 城幸 大久保 甚一 大竹 良宜
大濱 達明(S55K卒) 小沼 雄司 川井 勉 児島 二郎
小林 憲司 佐藤 文康 高橋 温仁 滝沢 全 西坂 美穂子
西村 典子 長谷沼 徹 福島 広己 八巻 勤 渡部 秀一
渡部 孝志

第115回(2022)同窓会総会懇親会 (学校創立120周年記念祝賀会)

會工同窓会総会懇親会(学校創立120周年祝賀会)は同窓会総会終了後、写真撮影に続きホテル「いづみや」1階大ホールにて同窓会員、松本校長をはじめとする教職員、式典受賞者(招待者)、記念講話講師(東京オリンピック ボクシング女子金メダリスト 入江聖奈選手)、ご来賓各位を含め総勢66名で開催されました。

荒川富士雄副会長の開会のことばに続き浅田誠会長の挨拶があり、祝辞は、福島県議会議員 渡部優生氏(S55M卒)より頂戴いたしました。

120周年記念事業全般に対して松本善法校長が謝辞を申し上げ、若狭春生同窓会顧問の発声で乾杯をし、祝宴に入りました。

第115回同窓会総会のお祝いと、120周年記念事業の成功を参加者全員で喜び、盛会の内に祝宴は進みました。

三井正春 東海会工会会長による万歳三唱が行われ、長尾好章PTA会長(S50T卒)の閉会のことばで懇親会(祝賀会)は終了しました。

幹事長 木村洋一(S50K卒)

記念講話

演題「ボクシングで学んだこと」
講師 日本体育大学4年 入江聖奈選手



祝賀会

会 総 会 懇 親 会

